

シダ植物ミズニラ科

ミズニラ

Isoetes japonica A.Braun

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内の産地はまれであり、個体数が少ない。また、全国的にも生育地は少なく、減少傾向が著しい。

【概要】

夏緑性の水草で、葉は長さ15－30cmで断面は4稜のある円柱形で先はしだいに細くなる。葉の基部は広がり卵状になり、中に孢子嚢が存在する。大孢子は白色で表面には薄い網状突起があり、ハチの巣状となる。小孢子の表面は平滑、時に低い瘤状突起を持つ。従来、ミズニラと考えられてきたものは現在ミズニラとミズニラモドキに分けられている。ミズニラモドキは大孢子の網状突起が長く、密に生じ、小孢子の表面に針状突起があることが区別できるという。ミズニラは6倍体有性生殖種で、国内では本州と四国の低地に広く分布し、中国や韓国に分布する。ミズニラモドキは8倍体有性生殖種で東北・関東の太平洋側各県と瀬戸内海各県の各地に生じる。

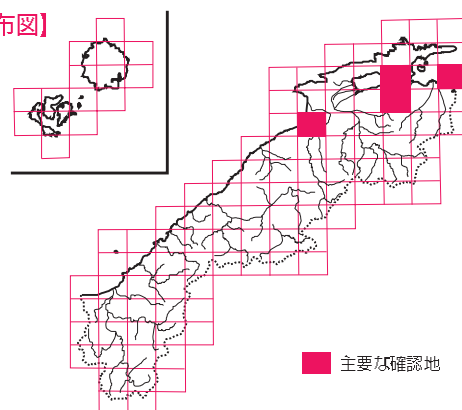
【県内での生育地域・生育環境】

出雲部の溜池に数ヵ所産地が知られていたが、現在確認できないところも多い。個体数も非常に少ない。

【存在を脅かす原因】

溜池の環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎												○									

シダ植物ハナヤスリ科

ヒロハハナヤスリ

Ophioglossum vulgatum L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

全国的に個体数が少なく、県内でも生育地が限定され、個体数が少ない。

【概要】

山地や原野に群生する小型のシダであり、春に葉を生じ、夏には地上部は枯れてしまう。葉は1枚で高さ10－30cmであり、栄養葉は長さ6－12cm、幅2.5－7cm、広披針形～広卵形で先は鈍頭から円頭、基部は切形から心形で孢子葉の柄を包む。孢子葉は長さ10－20cmで穂の長さは3cm内外である。

国内の分布は北海道から九州の各地で、北に多く、山地の林床、林縁、路傍などに群生する。国外での分布は近縁種との関係が十分には検討されていないようである。

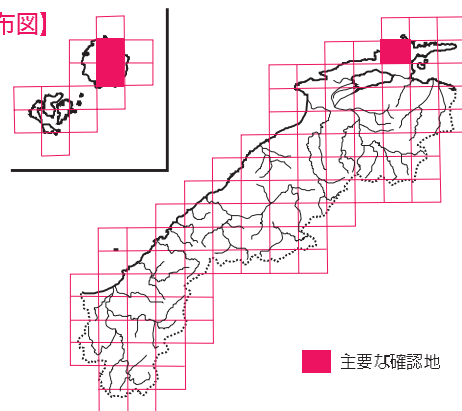
【県内での生育地域・生育環境】

隠岐諸島や東部の広葉樹林の林下や林縁に生育が知られている。

【存在を脅かす原因】

広葉樹の伐採等で生育地が変化すれば絶滅する。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○			○					○													

シダ植物ゼンマイ科

ヤシャゼンマイ

Osmunda lancea Thunb.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

写真 口絵 9

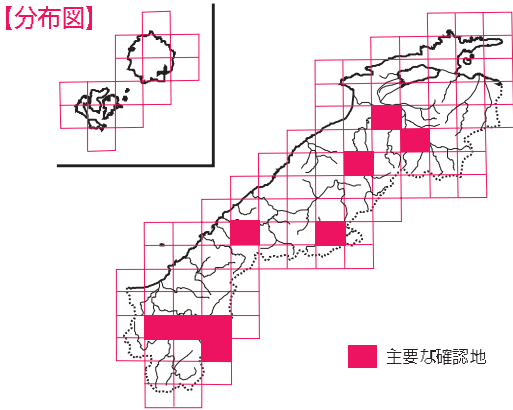
【選定理由】
生育地が溪谷の岩場と限定され、生育する環境が少なく、個体数も多くはない。

【概要】
溪流沿いの水しぶきがかかるような場所に生じる夏緑性のシダであり、ゼンマイより小型である。栄養葉は同じく2回羽状複葉であるが、小羽片の形が細く、卵状楕円形であること。基部の形が切型に対して、鋭形からくさび形であることで区別できる。

国内では北海道南部から九州東部にかけて広く見られる。日本の固有種である。

【県内での生育地域・生育環境】
県内では、隠岐諸島を除く溪流沿いに見られるが、とくに西部では生育地は多い。

【存在を脅かす原因】
河川改修、土砂堆積。



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○				○					○								

シダ植物コケシノブ科

ウチワゴケ

Crepidomanes minutum (Bl.) K. Iwats.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

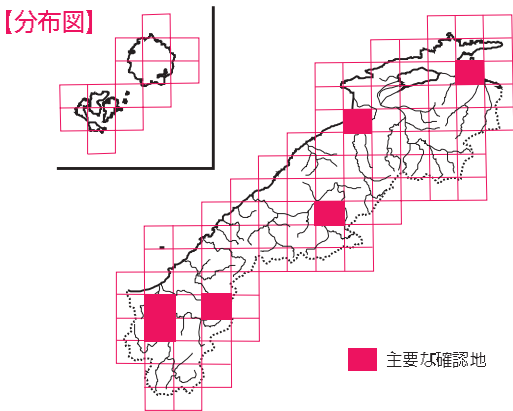
【選定理由】
県内では生育地が少なく、個体群が限られている。

【概要】
岩上、樹幹などに群生し、常緑性の小型のシダである。葉身はうちわ形で長さ7－15mmで胞子囊群は葉縁につく。

国内では北海道から南西諸島、小笠原まで生育し、北部ではややまれのようなものである。

【県内での生育地域・生育環境】
隠岐諸島を除く県内各地に若干の生育地がある。湿度の高い谷間などの林下の岩上や樹幹に生育する。

【存在を脅かす原因】
生育地の森林伐採による乾燥等。



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
◎	◎	○		○				○											

シダ植物オシダ科

ツクシイワヘゴ

Dryopteris commixta Tagawa

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

生育地・個体数ともに少ない。

【概要】

常緑性のシダで根茎は太く短く、直立して葉を叢生する。葉柄の鱗片は黒褐色であり、羽片は単羽状複生し、浅裂～中裂する。近縁のイワヘゴによく似ているが、羽片の数が少なく、20対以内であり、胞膜の発達が悪いのが特徴である。

本州（石川県・房総半島・伊豆半島・東海地方・大阪府・岡山県・島根県・広島県・山口県）・四国・九州に知られており、日本固有種である。

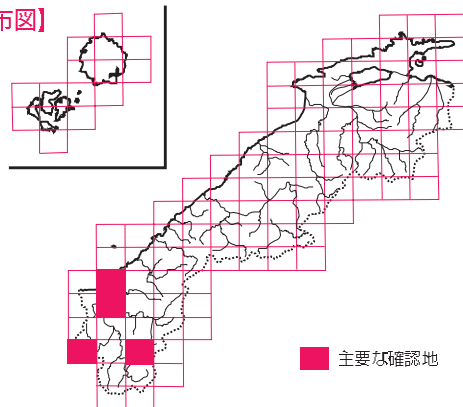
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見西部に知られ、個体数は少ない。林下の林床に生育する。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		◎		○				○													

シダ植物オシダ科

ツクシオオクジャク

Dryopteris handeliana C.Chir.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

自生地が限られ、個体数も少ない。分布の北限である。

【概要】

常緑で根茎は短く、葉を叢生する。葉身は長さ40～70cmである。羽片は下部2/3の両側がほぼ平行で、それから先で急に狭くなり、鋭尖頭、辺縁の切れ込みは浅く、上部の羽片は急に短くなり頂羽片状になる。孢子嚢は辺縁に沿って2～3列に並ぶ。山地の林下に生育し、九州の各地と高知県、山口県で生育が確認されている。

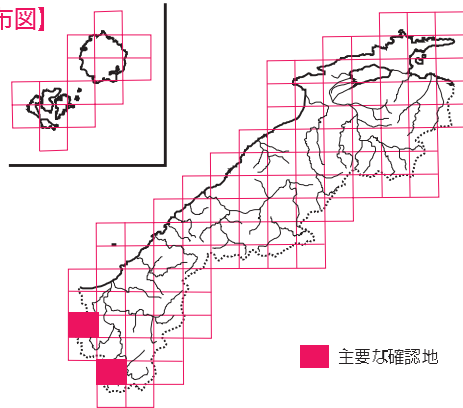
【県内での生育地域・生育環境】

西部の林下に数カ所の分布が知られているだけである。産地が限定されており、森林伐採により全滅する危険性もある。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		◎		○																	

シダ植物オシダ科

ヌカイタチシダモドキ

Dryopteris indusiata (Makino) Makino et Yamam.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

自生地が限られ、個体数も非常に少ない。

【概要】

常緑で根茎は短く、葉を叢生する。葉柄はわら色で長さ20～30cm。基部の鱗片は黒色～黒褐色。葉身は20～40cm。幅15～30cmで、広卵状三角形、2回羽状複生。羽片はほぼ対生でほとんど無柄。小羽片も無柄で長楕円状～三角状披針形。胞子嚢群は小羽軸と辺縁の中間かやや小羽軸に並ぶ。低山地の林床に生育する。

本州（静岡県以西）・四国・九州で、沖縄や台湾に生育する。

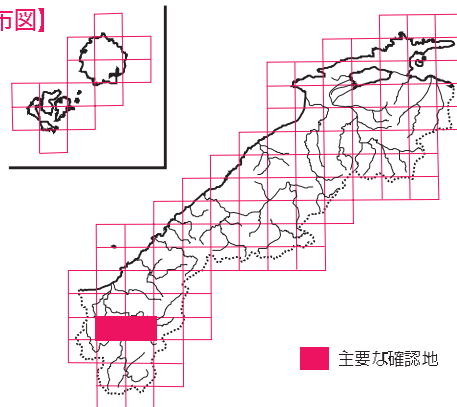
【県内での生育地域・生育環境】

西部の数カ所に生育することが知られている。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		◎		○																	

シダ植物オシダ科

ミヤマクマワラビ

Dryopteris polylepis (Fr. et Sav.) C. Chr.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内では産地が限られている。

【概要】

夏緑性のシダで根茎は短く斜上し、葉を叢生する。葉柄や中軸には黒褐色から黒色の鱗片を密生する。葉身は単羽状複生で、倒披針形。羽片は線状披針形で、先端近くまで平行し、先は尖る。胞子嚢群は葉身の先端部につき、裂片の辺縁寄りに1列に並ぶ。

本州・四国・九州で主として温帯林の林床に生じる。国外では朝鮮半島に記録されている。

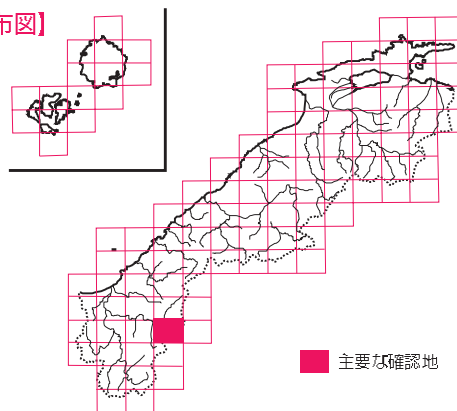
【県内での生育地域・生育環境】

西部の温帯上部の谷部に数カ所群生しているのが知られている。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		◎		○																	

シダ植物オシダ科

イワイタチシダ

Dryopteris saxifraga H.Ito

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

自生地が限られ、個体数も非常に少ない。

【概要】

常緑で根茎は短く、葉を叢生する。葉身は大きくとも長さ20－30cmで、深山の陰湿な森林中の湿った岩壁に生育する。近縁の種とは、生育地と葉柄の鱗片が密に直角またはやや下向きに開出して先端が上をむくことが異なる。この鱗片の色は黒褐色から黒色である。

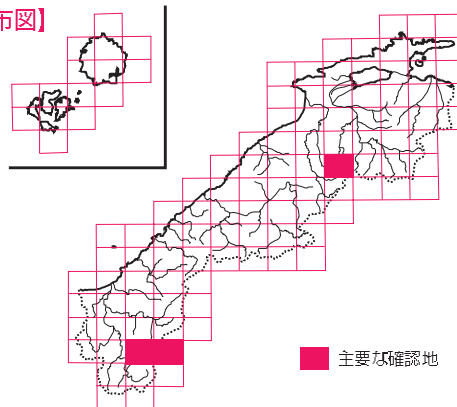
【県内での生育地域・生育環境】

中国山地に若干の分布が知られており、個体数は非常に少ない。

【存在を脅かす原因】

森林の伐採。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
◎		◎		○															

シダ植物オシダ科

ナンカイイタチシダ

Dryopteris varia (L.) O.Kuntze

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 □ 絵 9

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

個体数が少なく、国内での分布の北限を形成している。

【概要】

常緑性のシダで葉柄基部の鱗片は赤褐色から黒褐色であり、葉身は広卵形から五画状広卵形で先端は急に細くなって、頂羽片を形成する。2回羽状複生で、最下羽片の基部数対の羽片は大きい。葉質がやや厚く、光沢があるといわれるが、県内のは光沢がなく青緑色になっている。胞子嚢群は大型で中間生である。

千葉県南部以西の暖地から南西諸島にいたる各地の海岸に近いところの斜面に生じる。国外では朝鮮半島・中国・台湾・インド/インドシナ・フィリピンなどに産する。

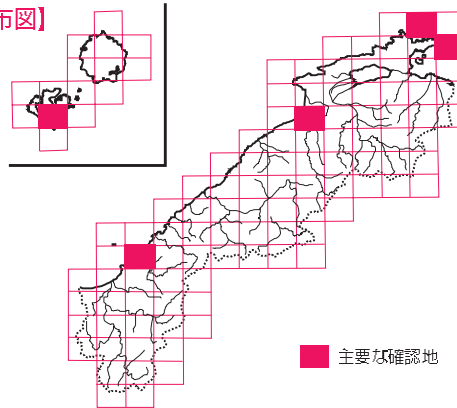
【県内での生育地域・生育環境】

古くから隠岐諸島での自生は報告されていたが、現状不明である。現在は、出雲・石見各地の海に近いやや乾燥した崖地にまれに生育していることが分かっている。

【存在を脅かす原因】

土壌堆積、道路拡張。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
◎		◎	△															○	

シダ植物ヒメシダ科

テツホシダ

Thelypteris omeiensis (Bak.) Ching

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵9

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内の生育地は、国内では分布の北限域を形成し、個体数も少ない。

【概要】

夏緑性で根茎は長く横走する。葉柄は通常20–40cmで葉身は広披針形で、円頭から鈍頭で長さは30–50cmである。ホシダに似ているが頂羽片はない。

国内では本州（静岡県・紀伊半島・福井県・島根県）・四国・九州・南西諸島に分布し、明るい湿地に生じ、しばしば群生する。世界の熱帯・亜熱帯に広く分布する。

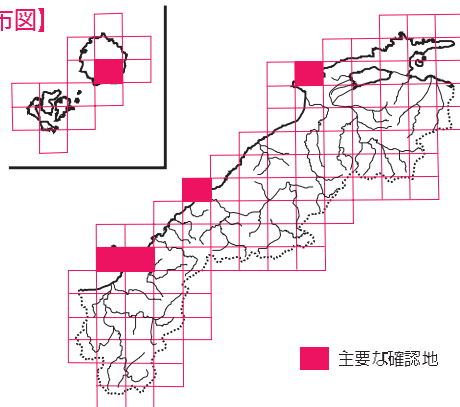
【県内での生育地域・生育環境】

県内では隠岐諸島を含む県内の海岸部の湿地に点在している。国内の日本海側での分布は福井県と島根県のみであり、隠岐諸島の分布は福井県とともに分布の北限となる。

【存在を脅かす原因】

遷移。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	露岩
○		○	○																○			○

シダ植物イワテンダ科

ツクシイヌワラビ

Athyrium kuratae Serizawa

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵9

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内で生育地・個体数ともに少なく、国内での分布の北限を構成している。

【概要】

常緑性で根茎は直立し、数枚の葉を叢生する。似ているタニイヌワラビが、小羽片が鋭頭で、基部はほとんど無柄、葉柄基部の鱗片が茶色から茶褐色であるのに対し、葉質がやや厚く、小羽片はやや鈍頭で、基部は羽軸に流れることが多いこと、基部の鱗片が茶色から茶褐色であることで区別される。

国内では本州（中部地方以西および伊豆諸島）・四国・九州で山地のやや陰湿な林下に生じる。国外では台湾・中国に産する。

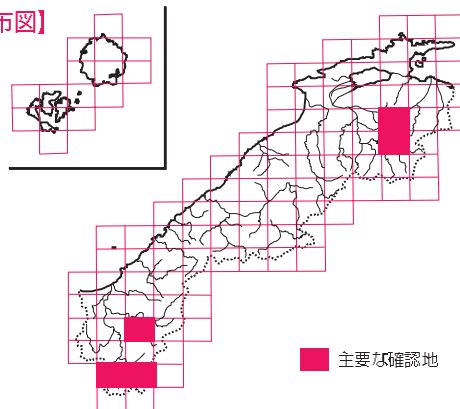
【県内での生育地域・生育環境】

石見西部の奥地に若干生育することが知られていたが、近年東部でも生育が確認された。林下の陰湿な斜面の若干土壌の堆積した場所に生えている。

【存在を脅かす原因】

森林伐採。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○		○																	

シダ植物ウラボシ科

ヒメノキシノブ

Lepisorus onoei (Fr.et Sav.) Ching

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内では生育地・個体数とも少ない。

【概要】

根茎は長く這い、葉をまばらにつける。葉柄は短く、葉身は線形で基部は円形から心形で先端が鈍頭のことが多い。孢子嚢群は数個で葉身の上部の中肋と辺縁の中間に並んでつく。

北海道西南部から九州（奄美大島）の各地に生育し、やや明るい林中の岩上や樹幹に生じる。

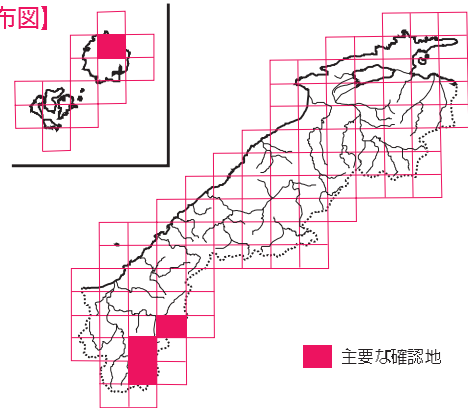
【県内での生育地域・生育環境】

隠岐（島後）の山地の岩に生育するのが知られる。また、石見西部でも採集されている。

【存在を脅かす原因】

遷移による被陰化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		◎	◎					○														

シダ植物ウラボシ科

サジラン

Loxogramme duclouxii Christ

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県下で確認されている場所も少なく、個体数も非常に少ない。

【概要】

常緑性のシダで根茎は長く這う。葉身は倒披針形で先は尖る。葉質は厚く、暗緑色で、毛は無い。孢子嚢群は葉身の上半分について斜上し、長さ4cmくらい。イワヤナギシダと似ているが、葉柄の基部が黒褐色で葉がやや広いこと、孢子嚢群と中肋との角度がやや広いこと。孢子嚢群の重なりが大きいこと、全体に大きさが大きいなどで区別できる。

本州（福島県以西）・四国・九州の暖帯上部の林中の岩上や樹幹に着生する。国外では、ヒマラヤ・中国西南部・タイ・台湾・韓国（済州島）に分布する。

【県内での生育地域・生育環境】

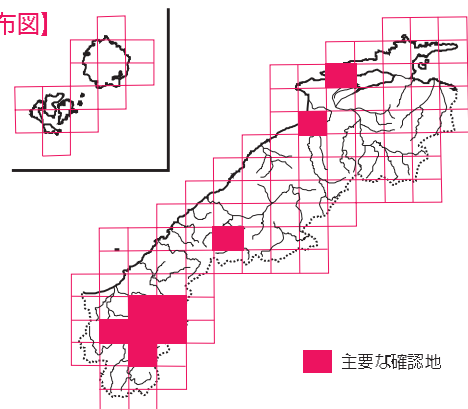
県内各地に点在するがどこも個体数は少ない。隠岐諸島での分布は確認されていない。林中の岩上や樹幹に産

する。

【存在を脅かす原因】

森林伐採、採集。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○				○													

シダ植物ウラボシ科

ビロウドシダ

Pyrrosia linearifolia (Hook.) Ching

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

生育地が限られ、個体数も少ない。

【概要】

常緑性の小型のシダで、根茎は長く伸びる。葉身は線形で、先端は円頭であり、長さ2－15cmになる。全面に黄褐色から灰褐色の星状毛が密生する。孢子嚢群は円形で中肋の両側にだいたい1列にならぶ。

北海道から九州（中・北部）と沖縄県に分布し、陰になった岩上やまれに樹幹に着生する。国外では朝鮮半島と中国東北部に分布する。

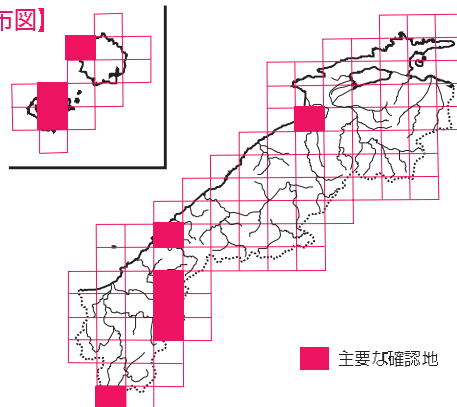
【県内での生育地域・生育環境】

隠岐諸島を含む、県内全域のやや乾いた岩上に点々と分布が確認されているが、絶滅した場所も多い。浜田市では市の天然記念物とされている。

【存在を脅かす原因】

森林伐採、採集。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域							
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○	○					○						○									

イチイ目イチイ科

イチイ

Taxus cuspidata Sieb. et Zucc.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

常緑針葉樹で高さ20m、径1m以上になる。樹皮は赤褐色で薄く縦裂する。葉は線形で長さ2cm、幅3mmばかり。雌雄異株で、花は春に咲き、種子は秋に成熟し、仮種皮は卵形で長さ、幅共に1cm程、赤く熟れて特徴的である。

国内では北海道から本州、四国、九州に分布するが、暖地ではまれな植物のようである。

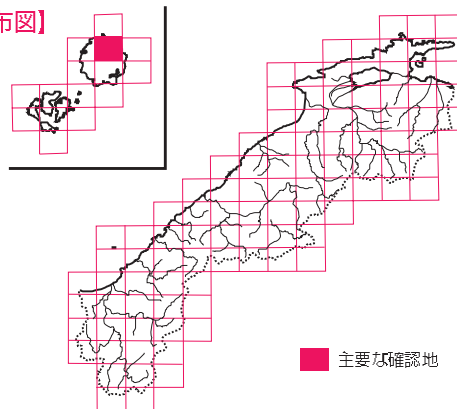
【県内での生育地域・生育環境】

県内では隠岐(島後)に生育地がある。山地の尾根筋で、露岩状地や痩せた地に生える。中国山地にも生育地が存在しているが、島根県側での生育地は不明である。生育地の一部は国指定天然記念物、国立公園内にあり、取りあえず保護されている。

【存続を脅かす原因】

生育地である樹林の伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
			○	○																	

イラクサ目イラクサ科

ミヤコミズ

Pilea Kiotensis Ohwi

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

草丈10cm程で葉身も大きいもので、長さ10cm、幅5cm程の水気のある柔らかい一年草である。

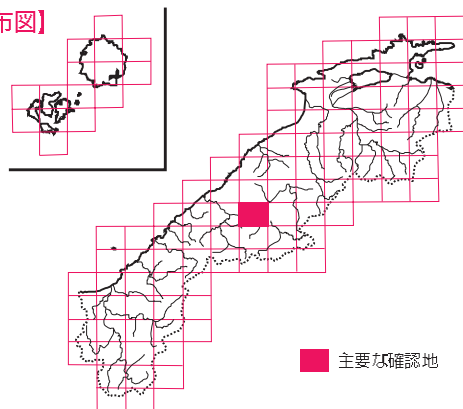
【県内での生育地域・生育環境】

石見部の山地、溪谷、溪流沿いの陰湿な地に生える。

【存続を脅かす原因】

溪流沿いの樹林抜開による育成地の乾燥化がもっとも危険な絶滅要因となるであろう。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
	○			○															

イラクサ目イラクサ科

ミヤマミズ

Pilea petiolaris (Sieb. et Zucc.) Blume

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれである。生育地での個体数も多くはない。

【概要】

草丈50cmばかりで、長楕円形長さ10cm、幅3cm程の葉を対生し、株になって生える多年草。湿り気の強い土地に生え、植物体全体が濃い緑色である。葉の先端が突起状に伸び出して特徴的である。花は夏から秋に咲き、雌雄同株で、葉腋に雄花序、雌花序を別につける。

分布は本州の関東以西、四国、九州の暖地にある。

【県内での生育地域・生育環境】

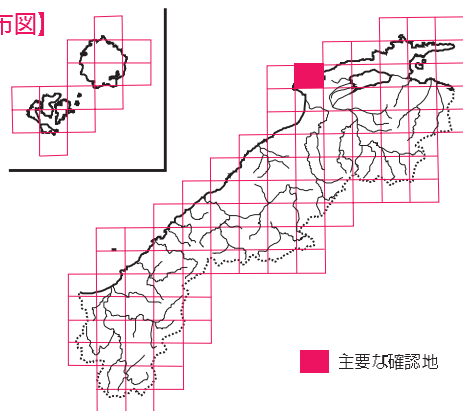
県内での生育地は出雲部の一部に限られていて、石見部での生育地については不明である。山中の川の砂礫堆積地や砂防堤上流部での砂泥が堆積した場所などに生えている。

【存続を脅かす原因】

洪水による生育地の破壊、植物体の流失が考えられる。

河川工事。生育地での遷移による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○											○								

ビャクダン目ヤドリギ科

ホザキノヤドリギ

Hyphear tanakae (Franch. et Savat.) Hosokawa

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数もさわめてまれである。

【概要】

夏緑広葉樹に寄生する夏緑生性の低木であり、枝を分けて長楕円形、長さ2－3cm、幅1cmばかりの葉を対生し、繁る。

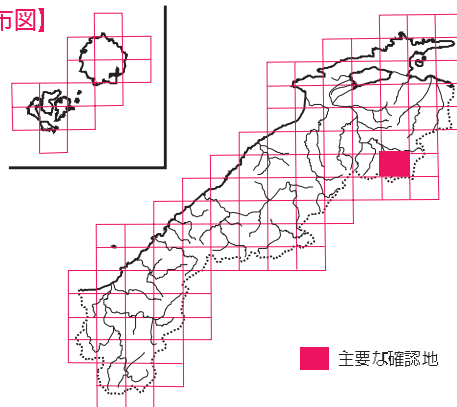
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部中国山地沿いの山地林内のコナラの樹幹に寄生したものが大小数株知られたが、その他に知られていないのでさわめてまれなものである。

【存続を脅かす原因】

生育地の樹木伐採。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○				○															

タデ目タデ科

ハルトラノオ

Bistorta tenuicaulis (Bisset et Moore) Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれである。

【概要】

根茎が地を這い、先端で長さ10cm、幅3－5cmばかりの葉を1～2枚つけて生える夏緑性の多年草。根茎は地に残く這い、ところどころに膨れた節がある。花は春に咲き、高さ5－10cmばかりの花茎を出し、2～3枚の葉をつけ、葉腋の短い花序に白色の小花を数個から十数個つける。

本州、四国、九州に分布域があるとされる。

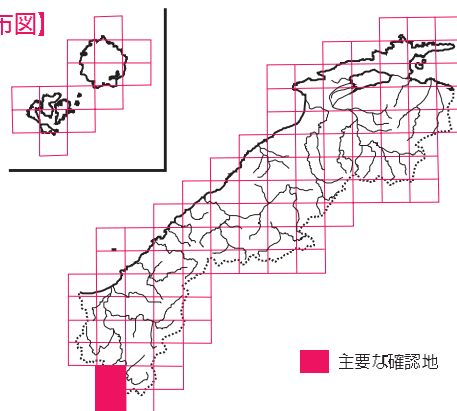
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見部の中国山地沿いの深山谷間にまれに生育地が見られる。出雲での生育地は不明である。夏緑樹林内の溪流沿いから斜面下部にかけて生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○		○															

タデ目タデ科

ナガバノヤノネグサ

Persicaria breviochreata (Makino) Ohki

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：分布限界種 (北限)

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はさわめてまれである。

【概要】

草丈20－30cmの1年生草本で、葉は広披針形～長楕円形で、基部は矢じり形で三角形の耳状片があり、長さ5cm、幅1－2cmばかりで互生し、托葉鞘は短く、長い縁毛がある。花は夏に咲き、2～3個の小花をまばらにつける。

本州の関東以西から四国、九州に生えるものとされる。

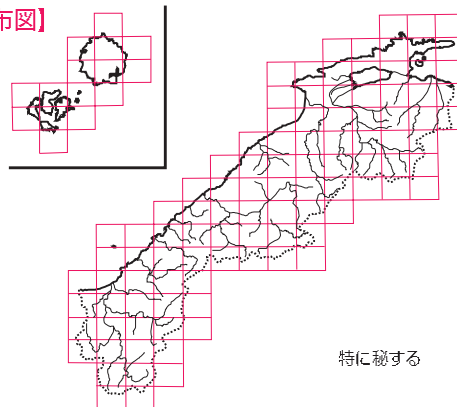
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は石見西部にまれに存在する。照葉樹林域での山中谷間のやや湿り気のある地にまれに生えるが、時にスギ林内で密に生えることもある。県内の生育地には分布北限があると思われる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○						○													

アカザ目ナデシコ科

ハマナデシコ

Dianthus japonicus Thunb.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はややまれであり、生育地での個体数は多くはない。

【概要】

海岸の岩上や崖地に生える草丈30cmばかりになる多年草である。葉は地際に根生葉が束生して、数本の枝を分けて茎が立つ。茎葉は倒披針形から長楕円形で長さ5cm、幅2cmばかりであるが、根生葉は茎葉より少しばかり大きい。葉は強い光沢がある。花は夏から秋にかけて咲き、茎頂に集散花序をなして多くの花をつける。花卉は紅紫色で美しく時に栽培され、掘り取る人がある。

本州、四国、九州、南西諸島に分布し、中国にも分布するとされる。

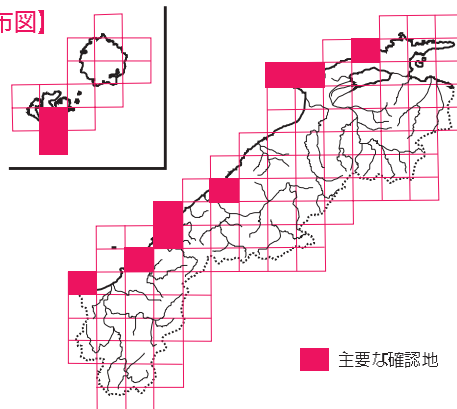
【県内での生育地域・生育環境】

県内ではほぼ全域の海岸に、生育地が点在するが、ややまれである。海岸の岩場や崖地に生えていて、生育地での個体数は多くはない。

【存続を脅かす原因】

海岸崖地の自然崩壊や、波浪等による自然災害と園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	△															○	○		

アカザ目ナデシコ科

オオヤマフスマ

Moehringia lateriflora (L.) Fenzl

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

草丈10cmばかりの小型の多年草。山地草原内に生える。葉は倒披針形から楕円形で長さ2cm、幅0.5cmばかりで細い茎に対生する。花は夏に咲き、茎の上部の葉腋に花序を立て、2～3個の白色5弁、径1cmばかりの花をつける。

国内では北海道から四国、九州に分布する。

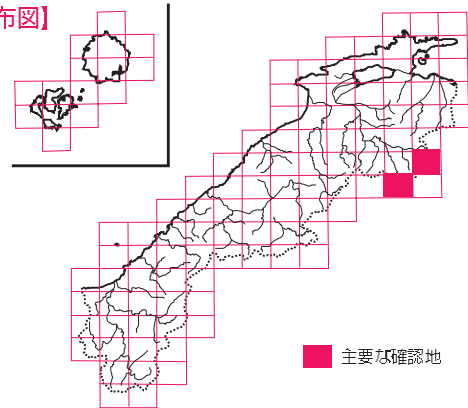
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部中国山地に生育地が知られている。山地の放牧地起源の草地や、人の踏み跡による草地に生えている。石見部での生育地については不明である。

【存続を脅かす原因】

山地草原での遷移による樹林化や、人による踏圧などによる消滅が考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○					○														

アカザ目ナデシコ科

ワチガイソウ

Pseudostellaria heterantha (Maxim.) Pax

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も僅かである。

【概要】

草丈10cmばかりの小型の多年草である。茎は基部で2～3の枝を出して立ち上がり、葉は倒披針形から楕円形で、長さ2～3cm、幅1～2cmばかりで対生する。花は春に咲き、茎の上部の葉腋に長い花柄を出し、柄の先に白花5弁の小花を1個だけつける。夏緑樹内に生える。

本州の東北地方南部から四国、九州に分布域があり、中国大陸にも分布するとされる。

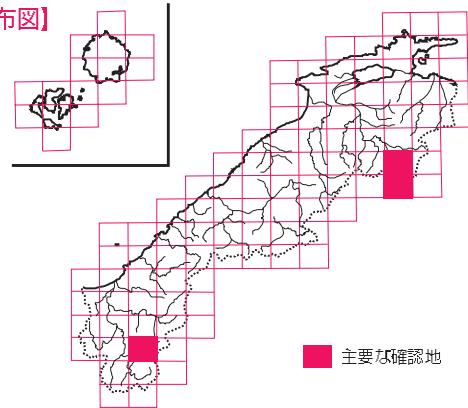
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部の中国山地の一部に生育地が知られていて、冷温帯夏緑林内に生える。

【存続を脅かす原因】

森林伐開による生育地の環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○		○		○															

キンボウゲ目キンボウゲ科

サンヨウブシ

Aconitum sanyoense Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれであり、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

多くは冷温帯の山中に生える夏緑の多年草。茎は多くは直立せず斜めに伸びて、葉は円腎形で長さ10cm、幅15cmばかりで、5－7片中裂し、互生する。花は秋の頃に咲き、淡紫色から濃紫色で長さ5cmばかりで、多くて10花ばかりがつく。

本州の関東地方以西から四国にかけて分布するとされる。

【県内での生育地域・生育環境】

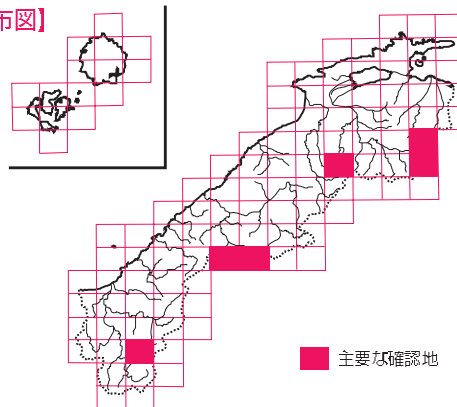
県内では中国山地の谷間に生育地が存在する。冷温帯夏緑林内のやや陰湿な環境の場に生える。生育地では個体数が減少してきている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。園芸上での採取も

考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○		○															

キンボウゲ目キンボウゲ科

ニンソウ

Anemone flaccida Fr. Schm.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵 9

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地林内、林縁に生える夏緑性の多年草。地中に這う根茎に2～3枚の根生葉をつける。葉は10cm前後の葉柄があって、先に3小葉の葉身をつける。葉身は大小の欠刻状に裂ける。花は春に咲く。花は高さ20cmばかりの花茎の先に3枚の茎葉をつけ、2～3花をつける。花は径2cmばかりであるが、萼片5～6枚が楕円形、白色で花弁状であって目立つ。

北海道から四国、九州に分布し、さらに朝鮮半島、中国東北部に続く分布域があるとされる。

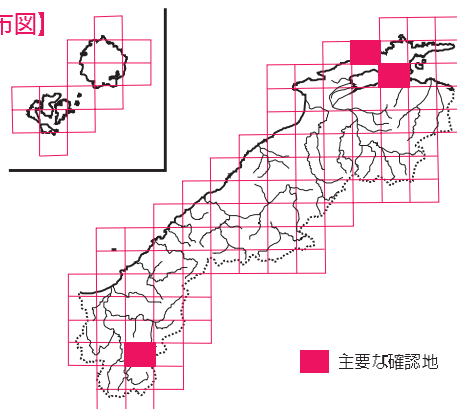
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部から石見部にかけての山地夏緑二次林内、林縁に生育地が点在するが、限られている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。園芸上での採取も考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○		○		○															

キンポウゲ目キンポウゲ科

アズマイチゲ

Anemone raddeana Regel

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

夏緑林内に生える草丈20cmばかりになる多年草。地中を這う根茎があって、2回3出の複葉を根生する。花は春に咲き、花茎を立て、3枚の茎葉を輪生して、茎頂に径3cmばかりの1花をつける。花被は長楕円形で白色から淡紫色で10枚ばかりがつく。夏には地上部はすべて枯れる。

国内では北海道から四国、九州に分布し、樺太、朝鮮半島に続く分布の植物とされる。西日本での分布はまれなようである。

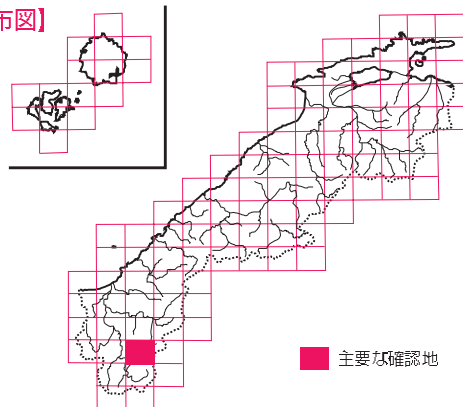
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は石見西部にまれであり、明るい夏緑林内の林床、林縁に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化と園芸上での採取が考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○							○												

キンポウゲ目キンポウゲ科

リュウキンカ

Caltha palustris L. var. *nipponica* Hara

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 □絵9

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

水湿地に生える夏緑性の多年草で、葉は根生葉としてつき、長い葉柄があって葉身は円形～楕円形で、長さ、幅とも5～10cmばかり、無毛で光沢がある。花は早春、葉が展開すると同時に咲く。長さ20～30cmの花茎を出し、先端で2～3の枝を分け、枝先に1花をつける。花は花弁がなく、黄色の萼片5枚が径4cmばかりの大きさで咲き、美しい。

本州及び九州の一部、朝鮮半島に分布域のある植物であるが、本来、寒冷な地に生えるもので、西日本ではまれな植物である。

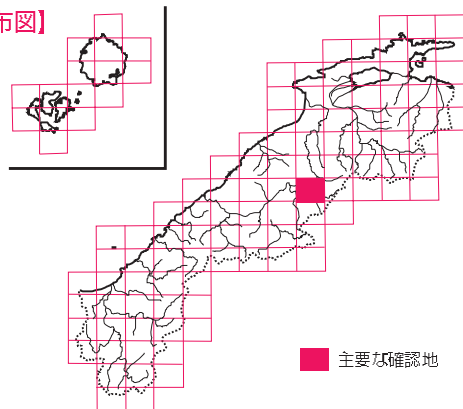
【県内での生育地域・生育環境】

県内での分布は出雲部の一部にのみ限られて、生育地は県の自然環境保全地域に指定され、保護されている。

【存続を脅かす原因】

生育地の遷移による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
◎							○														

キンボウゲ目キンボウゲ科

オキナグサ

Pulsatilla cernua (Thunb.) Sprenger

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

県内での生育地はかなりまれな状態となっている。生育地での個体数も激減している。

【概要】

本来、草原に生える草丈20cmばかりの多年草である。植物体は全体に白毛が多く、葉は2回羽状葉で根生する。開花株では高さ30cmばかりに花茎を立てて1茎に1花をつける。花は横向きから下向きに咲く習性がある、萼片6枚で外面は白毛に被われ、内面は赤紫色で、時に美しく咲く。花後、花茎はやや伸びて立ち上がり、茎頂に果実を球状につける。花柱が長く伸び、白毛を密生して特異な形状となる。園芸上での人気があり、栽培する人が多い。

日本、朝鮮半島、中国の範囲に分布域がある。

【県内での生育地域・生育環境】

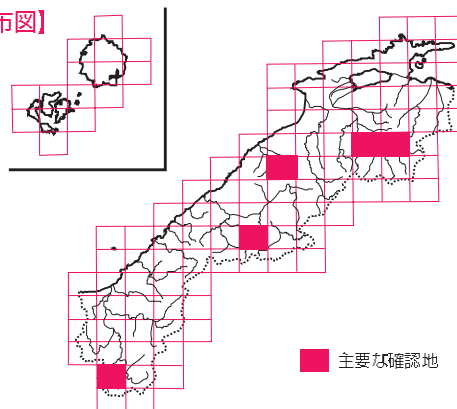
全県に生育地が点在するが、生育地が消滅した地も多い。山地草原から林縁の草地、耕作地及び溜池の土堤、

河川の河原などに生える。

【存続を脅かす原因】

草地の遷移による環境変化。河川での洪水。園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○			○	○				○	○								

ウマノスズクサ目ウマノスズクサ科

フタバアオイ

Asarum caulescens Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地も僅かな範囲である。

【概要】

山地のおもに夏緑樹林内に生え、草丈20cmばかりになる夏緑性の多年草。植物体は茎が地を這い、分枝して、枝の先端に普通は2枚の葉をつける。茎は円柱形で赤茶色を帯び、葉は長い柄があってほぼ円形、心脚で径5-10cmばかり。春、出葉と同時に葉の基部に花をつける。花は花弁はなく、3枚の萼片が筒状になって、先の裂片が外側に反り返り、筒部に接する奇妙な形態となる。色は赤茶色である。

本州、四国、九州に分布域がある。

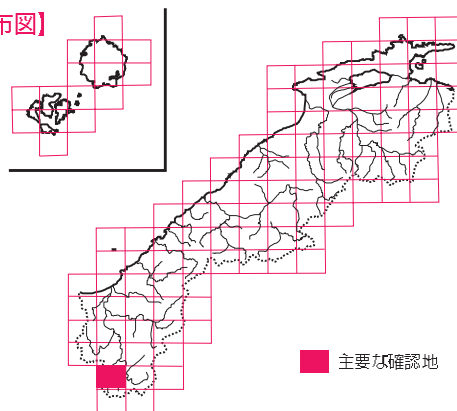
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は石見西部の山地にまれにあって、谷間のやや陰湿な環境の地に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による環境変化と園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○		○															

ウマノスズクサ目ウマノスズクサ科

タイリンアオイ

Heterotropa asaroides Morr. et Decne.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地林内に生えて、草丈20cm程のやや小型の植物であり、葉はほぼ卵形で基部は深い心形、長さ10cm、幅5cm前後、常緑で根生状につく。葉面には様々な独特な雲紋があって特徴的である。花は春に咲き、地際にこの類としては大きな径3－4cmばかりで、ほぼ球形の萼筒からなる花をつける。萼筒の上部で強くくびれ3片の萼裂片がある。

分布は狭い範囲で、本州西端部（島根、山口）と九州北部にかけて生える。

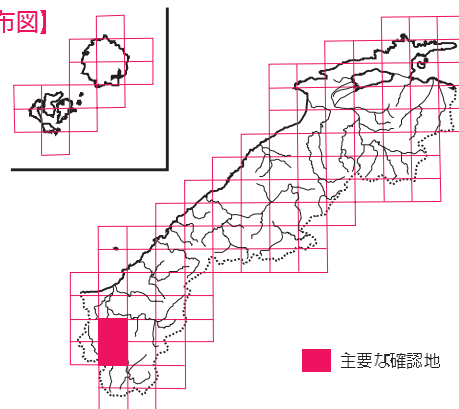
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見西部にのみ生育地が知られている。本来、照葉樹林内のものと思われるが夏緑二次林内にも生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による環境変化、園芸上での採取。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○		○															

オトギリソウ目オトギリソウ科

トモエソウ

Hypericum ascyron L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地の多くが消滅し、個体数も激減している。

【概要】

水湿地に生える草丈50cmばかり、時に1m程にもなる夏緑性の多年草。葉は披針形で長さ5－8cm、幅2－3cm程で対生する。花は夏に咲き、径5cmばかりで、花は黄色5弁で、花弁が巴形に曲がるのが特徴的である。

北海道から本州、四国、九州に分布し、朝鮮半島、中国に続いて分布する。

【県内での生育地域・生育環境】

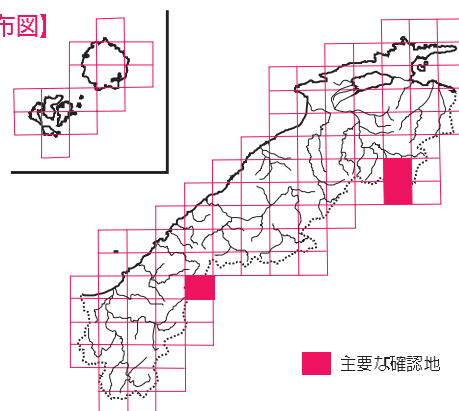
全県の山間の水湿地に生育地がかなり存在したものと思われるが、現状はきわめてまれな状態となっている。

【存続を脅かす原因】

山間の水湿地の遷移による環境変化。山間の水田脇や林縁の生育地は水田の区画整理や休耕、廃田などにより生育地その場の破壊や消滅、その場の遷移が個体の激減、

消滅につながってきていると思われる。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○				○	○				○	○							

バラ目ベンケイソウ科

アオベンケイ

Hylotelephium viride (Makino) H. Ohba

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれな状態となっている。本来、生育地での個体数は多くはないものである。

【概要】

樹幹、岩上に生える草丈20cm前後の夏緑性の多年草。葉は卵形で長さ5－6cm、幅3－4cmばかりで対生する。花は秋に咲き、茎の先端の散房花序に汚黄白色の小花を多数つける。

国内の本州中部地方以西、四国、九州に分布範囲があるとされる。

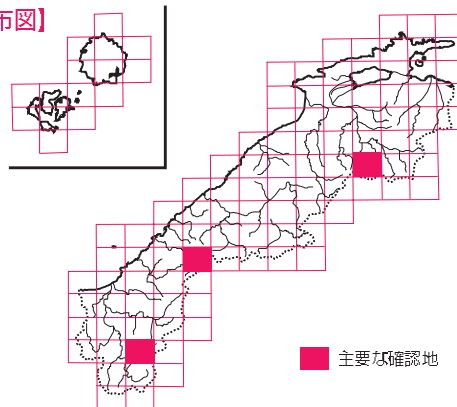
【県内での生育地域・生育環境】

県内では中国山地脊梁部に生育地が僅かに点在する。多くはブナの古木の樹幹に生え、イワガラミ、ツルアジサイ、ツタウルシなど着生した中に見られる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開と着生樹の伐倒。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○																	

バラ目ユキノシタ科

シラヒゲソウ

Parnassia foliosa Hook. fil. et Thoms. var. *nummularia* (Maxim.) T. Ito

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山間の水湿地に生える夏緑性の多年草。植物体は根際に径4－5cmのほぼ円形の葉を4～5枚束生し、2～3個の花茎を立てる。花茎はほぼ円形で、径2－3cmばかりの葉をつける。花は夏に咲いて、径2－3cmばかりで、花弁は白色5弁で、縁は糸状に裂けているのが特徴的である。

本州、四国、九州に分布する。

【県内での生育地域・生育環境】

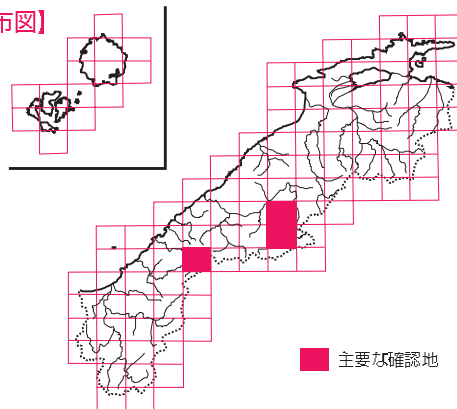
県内では石見部に限られた2～3の生育地が存在する。山間の小さな湿地や流れの縁に生えているが個体数は多くはない。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。園芸上での採取があ

れば絶滅するであろう。湿地も近い将来樹林化して消滅する心配がある。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○						○					○									

バラ目ユキノシタ科

タコノアシ

Penthorum chinense Prush

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内での生育地はかなり限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

水湿地に生える夏緑性の多年草。植物体は茎の高さ50cmばかり、時に1m程にもなるやや大形のもので、長さ10cmばかり、幅1cm程の細長い葉を互生する。花は夏に咲き、茎の先端部の花序の枝に黄緑色の小花を多くつける。花序の枝は初め外側に渦巻き状に巻いていて、伸びながら花が咲く。花序の枝の形状がタコの足によく似た姿にも見えると思われる。秋には植物体全体が赤く色づき、よく目立つ。

東アジアに広く分布するものとされ、国内では本州から四国、九州、南西諸島に分布する。

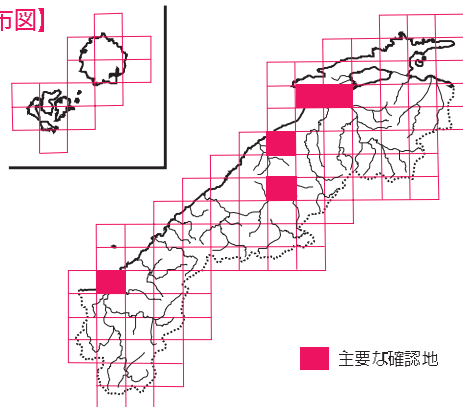
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部に生育地が点在するが、多くはない。多くは河川の流水際の砂泥堆積地に生えている。

【存続を脅かす原因】

河川改修工事で生育地が消滅した場もある。生育地での遷移による環境変化。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○									○					○					

バラ目ユキノシタ科

ヤシャビシャク

Ribes ambiguum Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、生育地での個体数もきわめて僅かである。

【概要】

樹幹に着生して生きる夏緑性の小木で、枝を分けて株状になり、高さは大きいもので50cmばかりになる。葉はほぼ円形で、基部は深く切れ込み、全面に毛がある。花は春に咲くが、緑白色で目立たず、果実が熟しても緑色で目立たないが、果実には全体に刺状の毛が生えているのが特徴的である。

本州から四国、九州に分布し、中国大陸にかけて分布が続くものとされる。

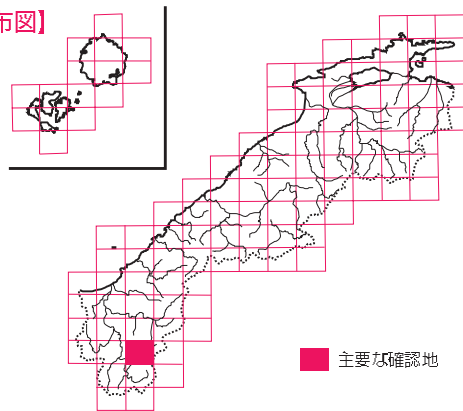
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見部の西中国山地内にまれに生育地が確認される。多くはブナの古木に着生している。石見部東部から出雲部にかけての生育地は確認されていないが、生育の可能性が考えられる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による着生木の伐採は致命的である。園芸上での採取も考えられる。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○		○																	

バラ目バラ科

シロヤマブキ

Rhodotypos scandens (Thunb.) Makino

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧ⅠB類 (EN)

【選定理由】

県内での生育地はさわめて限られていて、生育地での個体数も僅かである。

【概要】

夏緑性の低木で高さ1－2mばかり、少しばかり叢生して株をつくる。葉は卵形で長さ5cm、幅3cmばかり、対生する。花は春に咲いて白色、4弁で径4cmばかり、小枝の先に1花ずつつける。雌蕊は4個の離生心皮からなり、1花に4個の黒色果実をつける。古くより庭園に植えられ、茶花などにも愛でられ、知る人には知られた植物である。

本州の中国地方に分布し、朝鮮半島、中国に分布が続くものとされる。

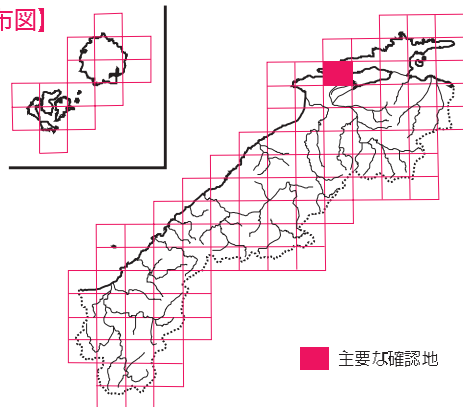
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部の一部にのみ生育地が知られている。海岸に近い山地の斜面に僅かな個体が存在する。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による照葉樹林化。園芸上での掘り取り。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○				○															

バラ目バラ科

キビナワシロイチゴ

Rubus yoshinoi Koidz.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内に生育地が存在することは明らかであるが、県内全域での生育地や個体数の現況が明らかでない。

【概要】

山地林内から林縁に生える夏緑の小低木である。茎はやや細く、長く伸びて鉤刺がある。葉は多くは3小葉の複葉であり、小葉は長楕円形で長さ6－7cm、幅2－3cmのもので、裏は白毛があって白い。花は春に咲き、花弁は淡紅紫色、果実は球形で、径1cmばかり、赤く熟れる。

国内では本州の東北地方、中部地方の一部や、中国地方、九州の一部に分布する植物とされる。

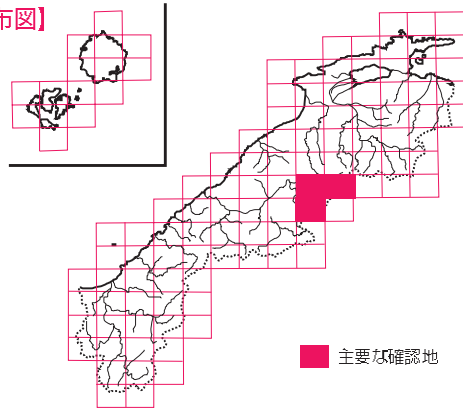
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部の中国山地沿いの山地で生育が知られているが、石見部での分布が明らかでない。出雲部での生育地も個体数が激減しているように思われる。

【存在を脅かす原因】

樹林伐開や林縁樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
	○			○															

フウロソウ目フウロソウ科

ビッチュウフウロ

Geranium yoshinoi Makino

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵10

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数は多くはない。

【概要】

山間の水湿地に生える夏緑性の多年草。植物体は径5～10cm程の葉を5～6枚根生して草丈50cmばかり、葉は1～2回3出状に裂け、全面に薄く毛があって、10cmばかりの長い柄がある。花は夏から秋にかけて咲き、株元から伸びる花茎は多く分枝して、枝の先に径2cmばかりの薄紫色の花をつける。

本州の中部地方南部、近畿地方北部から中国地方にかけて分布する植物とされる。

【県内での生育地域・生育環境】

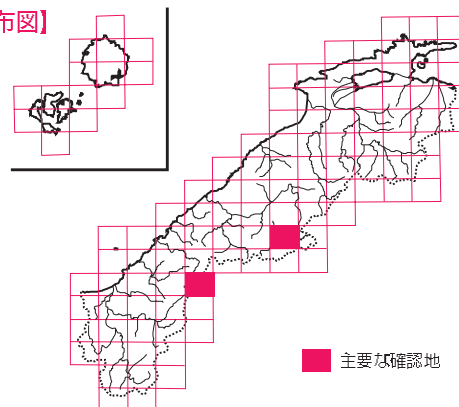
県内では中国山地山間の水湿地、湿原にまれに生育地がみられる。時に山間の水田脇の水湿地にも生える。

【存続を脅かす原因】

水湿地、湿原での遷移による樹林化などの環境変化。

水田脇の水湿地などは休耕、廃田によって生育地が樹林化し、個体群が消滅した場もある。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
	○	○					○												

フウロソウ目トウダイグサ科

カンコノキ

Glochidion obovatum Sieb. et Zucc.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内では生育地が限られていて、生育での個体数も限られている。

【概要】

海岸沿いの地に生える夏緑あるいは半夏緑性の樹種である。樹高は5～6mになり、枝の短枝がしばしば刺となる特徴があって、全体に刺の多い樹木である。葉は狭倒卵形で長さ5cm、幅2cmばかり、多くは先端部がもっとも幅が広く、逆三角形の形で互生する。雌雄異株、ときに同株とされるが、花は夏に咲き、花は小さく白色で葉腋に束生する。果実は扁球形で、種子は赤橙色で目立つ。

本州の近畿地方以西、四国、九州、南西諸島に分布地があるとされる。県内に分布するものは分布北限地のものとなる。

【県内での生育地域・生育環境】

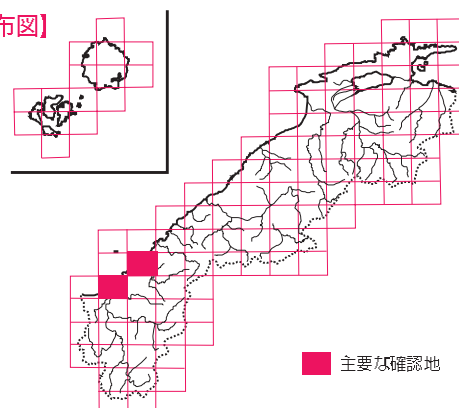
県内では石見西部の海岸に近い地にまれに見られる。

照葉樹二次林内、林縁に見られる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。道路拡幅などによる樹木伐倒。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○						○											

ムクロジ目カエデ科

カジカエデ

Acer diabolicum Blume ex Koch

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も限られている。

【概要】

高さ10数mになる夏緑樹。葉は長さ5－10cmばかりの葉柄があって、葉身は多くは五角形状であり、大きく3中裂し長さ、幅とも10cmばかりで対生する。雌雄異株で、花は春に咲き、雌、雄の花序に5－10花ばかりをつける。夏には熟し、分果は長さ3cmばかりである。

東北地方南部以南、四国、九州に分布する。

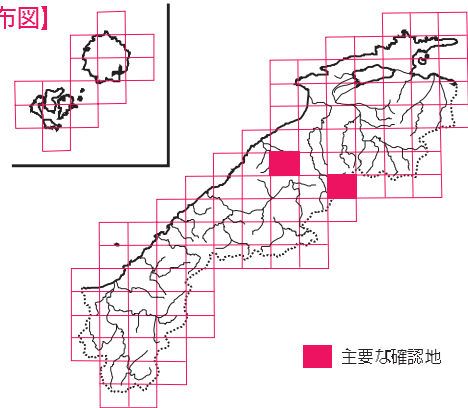
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は出雲、石見部の山地の一部に存在する。夏緑二次林内にまれに生え、個体数は僅かである。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○			○																	

ムクロジ目カエデ科

メグスリノキ

Acer nikoense Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

樹高20m程になる夏緑性の樹種。葉は3小葉で、葉柄は3－5cmばかり、さらに長さ2－3mmから1cm程の小葉柄があって小葉身がつく。葉柄は毛が密に生えて特徴的である。小葉身は長さ10cm、幅5cm程のものである。雌雄異株の樹種で、花は春に咲く。花序は散形だが、雌、雄花とも花は数個しかつかない。果実はカエデ類の中では大型で分果は径1cm程あり、翼がついて長さ4－5cmのものである。紅葉して美しい。

東北地方南部から四国、九州に分布域がある。

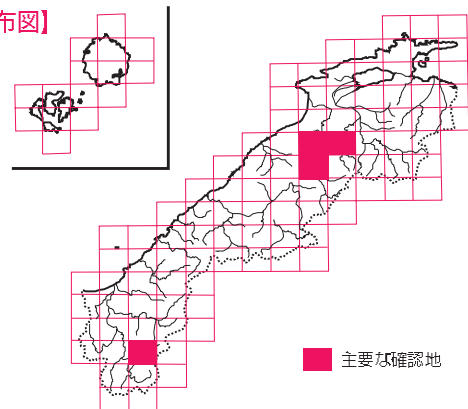
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部の山地にまれな生育地がある。本来、夏緑林内のものと思われるが、出雲部では照葉樹域内に生育していて珍しい。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○		○																	

ニシキギ目モチノキ科

シイモチ

Ilex buergeri Miq.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はややまれで、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

樹高は10数mになる常緑の樹種。葉はほぼ楕円形で両端はとがり、長さ7－8cm、幅2－3cm。互生する。雌雄異株の樹種。雄花序には10花、雌花序には3～4花の黄緑色の小花を束生する。果実は径5mm程で赤く熟れて美しい。

本州は中国地方西部と九州にのみ分布域がある。

【県内での生育地域・生育環境】

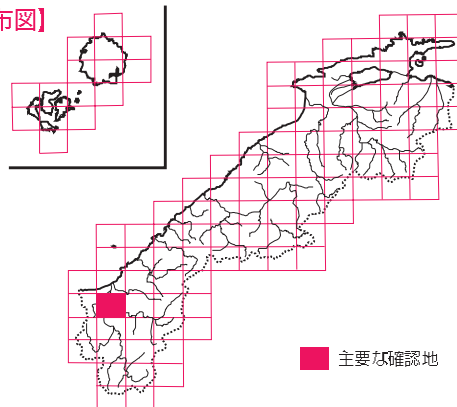
県内での生育地は石見西部の海岸寄りの土地にのみ存在する。照葉樹林域内に分布するが、優良なより自然的なスダジイ林内には生育するものが見られない。コジイ若令林やスダジイが少ない夏緑二次林内など、また、コジイーイチイガシ林と認められる社叢林内にも生育地がある。この社叢林は町指定の天然記念物として保護の対

象となっている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○							○										

ジンチョウゲ目ジンチョウゲ科

カラスシキミ

Daphne miyabeana Makino

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も限られている。

【概要】

常緑性の低木で、多くは高さ0.5m程にしかない。葉は倒披針形で長さ10cm、幅2cm前後で、枝先に集まり互生する。雌雄異株の植物で枝先に短い総状花序に数個の花をつける。果実はほぼ球形で径1cmばかり、赤く熟れて目立つ。

北海道、本州の日本海側の山地に分布する。

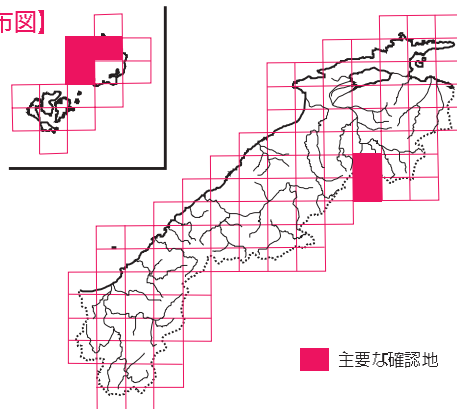
【県内での生育地域・生育環境】

県内では隠岐諸島と出雲部の中国山地脊梁部に生育地がある。隠岐（島後）では山地高所の夏緑二次林内、アカガシ林内の林床、クロベが優占する林分内でオキシヤクナゲが生育する中などに生える。中国山地脊梁部ではブナ林内、ミズナラ二次林内にまれに見られる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○			○	○															

ジンチョウゲ目ジンチョウゲ科

コガンピ

Diplomorpha ganpi (Sieb. et Zucc.) Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 11

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

夏緑性の低木で高さは0.5m程のもの。葉は長楕円形で長さ3－4cm、幅1－2cmで互生する。夏に花が咲き、枝の先に短い花序をつくり、数花をつける。花は筒状で長さ1cmばかり白色から淡紅色である。

本州の関東以西、四国、九州、南西諸島に分布する。

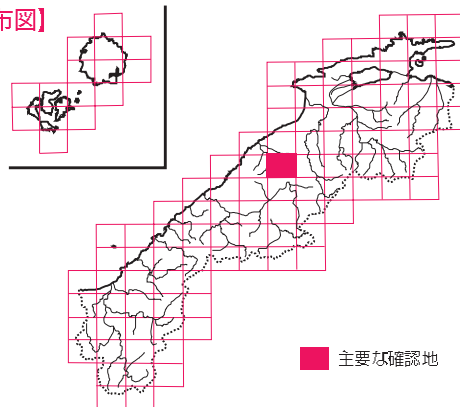
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は出雲部、石見部の一部にまれに存在する。山地の草原や崖地に生える。出雲部では道路法面や山地の山崩れ起源の崖地に群生した場があったが、その場の遷移により樹林化して消滅してしまっている。

【存続を脅かす原因】

遷移による生育地の環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
△	○				○																

スミレ目スミレ科

ダイセンキスミレ

Viola brevistipulata (Franch. et Savat.) W. Becker var. *minor* Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 11

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も限られている。

【概要】

鳥取県の大山を中心とした中国山地脊梁部に特産する黄花のスミレ類の一型である。林縁から草原状地、岩礫地に生える。

植物体は草丈10cmばかりの小形なもので、葉は卵形で長さ1－2cm、数枚をつける。花は初夏の頃に咲き、葉腋に径1cmばかりの黄花をつけて、美しい。茎は普通、濃い紫色を帯びていて特徴的である。

本州の中国地方に分布し、中国山地の脊梁部を中心に生える。

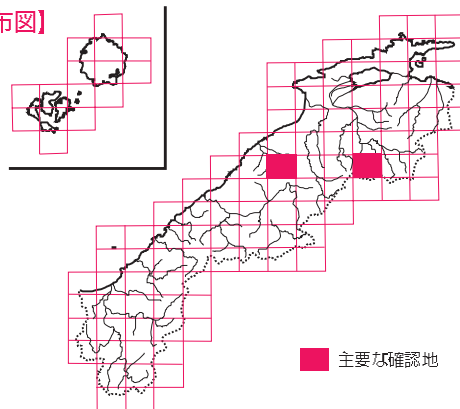
【県内での生育地域・生育環境】

県内では、中国山地脊梁部にまれに生育地があり、三瓶山にもまれな生育地がある。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。生育地の崩土などの自然災害。園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○				○																

フトモ目アリノトウグサ科
オグラノフサモ
Myriophyllum oguraense Miki

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 写真 口絵11
島根県固有評価：要注意種
環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【選定理由】
減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】
本州以西の湖沼、溜池などに生育する多年生の沈水植物。水中茎がつる状に伸び、よく分枝する。沈水（水中）葉はあざやかな緑色で無柄、全長2～4cmの葉身は羽状に全裂し4～5輪生。花季には花序となる高さ10cmほどの気中葉を水面上に直立する。雌雄同株で上部に雄性花序、下部に雌性花序がつく。気中葉は線形羽状で緑白色、全長数mmと沈水葉に比べて小さく、花も葉に隠れて目立たない。夏から秋にかけて越冬用の殖芽を形成する。全体が、同属のフサモとよく似るが、フサモの気中葉が緑色であること、殖芽がオグラノフサモでは6～8cmの長い棒状であるのに対し、フサモでは1.5～3cmの棍棒状であることなどで識別できる。従来我が国でフサモと同定されてきたものの多くが、実はオグラノフサモである

という。

【県内での生育地域・生育環境】
池沼及び溜池。タヌキモの仲間やヒツジグサなどが生えている池で一緒に見られることが多い。

【存続を脅かす原因】
農業形態の変化による溜池の管理不足。

生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△											○					○				

セリ目セリ科
ホタルサイコ
Bupleurum longiradiatum Turcz.var. *elatus* (Koso-Polj.) Kitagawa

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）
島根県固有評価：－
環境省：－

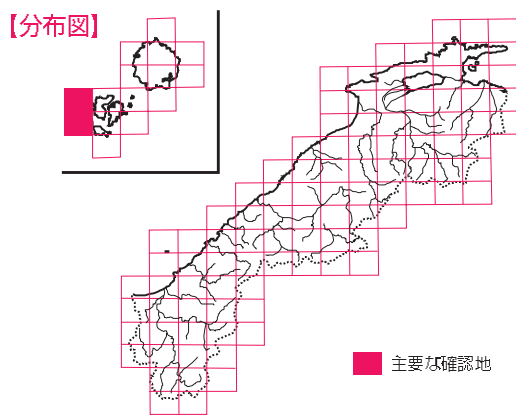
【選定理由】
県内での生育地はまれで、生育地での個体数は多くはない。

【概要】
林縁などの陽当りのよい草地に生える夏緑性の多年草。植物体は長楕円形の長さ20cmばかりの葉を5～6枚根生し、葉間より花茎を立て、草丈50cmばかりになる。花は夏に咲き、茎頂と葉腋からの枝に複散形花序をつけて、黄色の小花が数多く咲く。

本州、四国、九州に分布域がある。

【県内での生育地域・生育環境】
県内での生育地は隠岐諸島にのみ知られていて、海岸の草原から山地の林縁、崖地の草地などに生えている。

【存続を脅かす原因】
生育地での遷移による照葉樹林化。



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
			○																○		

セリ目セリ科

サケバゼリ

Oenanthe javanica (Blume) var. *japonica* (Maxim.) Honda

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、生育地での個体数も限られている。

【概要】

比較的海岸に近い山間の林縁での水湿地に生える草丈30cmばかりになる夏緑の多年草。葉は1～2回羽状の複葉で、4～5枚が根生する。小葉は広卵形で長さ1cmばかり、葉表は脈が裏側にくぼみ、条が目立ち、葉裏にかなり突き出る。鋸歯は細く、鋭頭である。花は夏に咲き、花茎の先の複散形花序に多くの白色小花をつける。

本州の紀伊半島以南、四国、九州、南西諸島に分布し、台湾、マレーシアに続く分布範囲のものである。

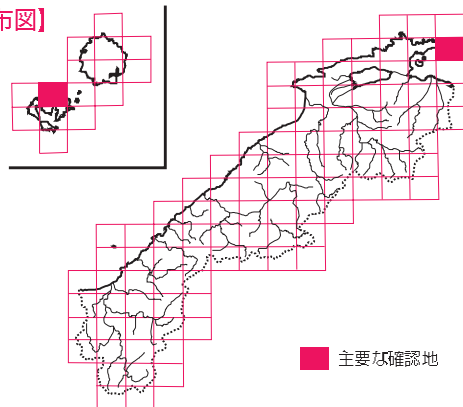
【県内での生育地域・生育環境】

県内では島根半島と隠岐諸島の一部にまれな生育地が知られている。海岸に近い山地の林縁部での水湿地となっている場所に生えている。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による照葉樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○			○									○									

ツツジ目ツツジ科

サラサドウダン

Enkianthus campanulatus (Miq.) Nicholson

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵11

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、生育地での個体数も限られている。

【概要】

夏緑性の高さ2～3mばかりの低木で、葉は長さ4～5cm、幅2cmばかりの倒卵形、枝先に5～6枚束生状につく。花は初夏の頃に咲き、花冠は鐘形で長さ1cmばかり、先は浅く裂けて、裂片の先は丸い。花色は白地に花冠裂片部が淡紅色で、さらに紅色の条が目立つ。枝先に10花程が鈴を下げたように垂れて咲き、美しい。

分布は北海道南部から本州、四国、九州の一部にあるとされる。

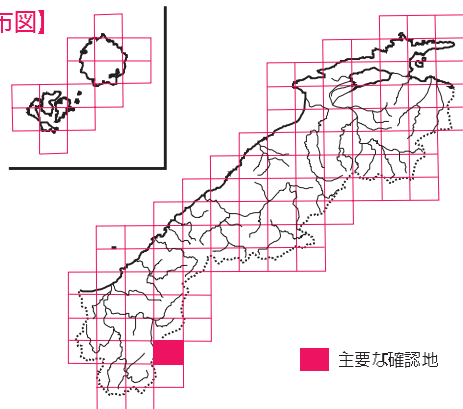
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見部の西中国山地脊梁部にまれに生育地がある。生育地は国定公園内にあり、それなりに保護されていて、盗掘等の心配はないものと思われる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○		○																	

ツツジ目ツツジ科

ベニドウダン

Enkianthus cernuus (Sieb. et Zucc.) Makino

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵11

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はさわめて限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

夏緑性の低木で高さ2－3mばかりになる樹種。葉は長さ3－4cmで、倒卵形、多くは枝先に5～6枚が互生して束生状につく。花期は初夏で枝先に花穂を垂れ5～6個の赤色、鐘状の花をつけ美しく咲く。花冠の先端は細い裂片となり特徴的である。果実は楕円形で長さ5mmばかりで上向きにつく。

本州の関東以西、四国、九州に分布する。

【県内での生育地域・生育環境】

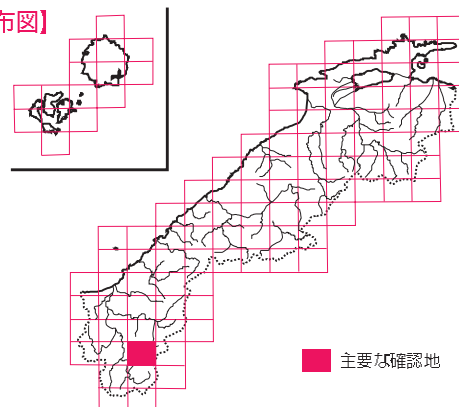
県内での生育地は石見西部の中国山地寄りの土地にまれに存在する。おもに山地斜面の岩場、露岩状地に生える。

【存続を脅かす原因】

生育地の一部においては、遷移による環境変化が考え

られる。また、園芸上での採取も考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○		○																	

ツツジ目ツツジ科

ホンシャクナゲ

Rhododendron metternichii Sieb. et Zucc. var. *hondoense* Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

常緑の低木で、高さ2－3mになり、山地の露岩状に生える。葉は1－2cmの葉柄があって長楕円形で長さ15cm、幅4－5cm、多くは枝先に束状に互生する。ツクシシャクナゲの変種として扱われることが多く、葉裏に毛がないものである。花は春に咲いて、枝先の総状花序に10花ばかりをつける。花冠は漏斗形で径4－5cm、紅紫色で先端部は7片に裂ける。

国内での分布は本州の北陸地方以西、四国の一部にあるとされる。

【県内での生育地域・生育環境】

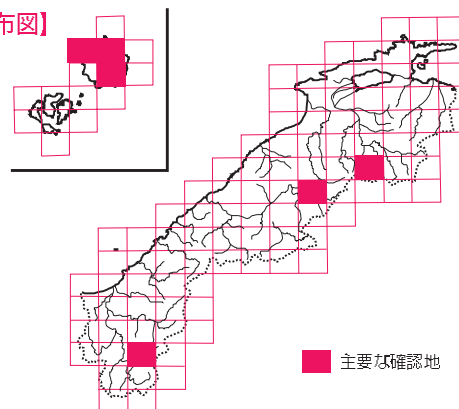
県内では出雲部、石見部および隠岐（島後）の山地に小規模な生育地が点在する。隠岐（島後）のものはオキシシャクナゲ（品種または変種）の名で区別されることが

ある。生育地はいずれも、溪谷状地の露岩、岩壁等の不安定立地にある。

【存続を脅かす原因】

森林伐開による生育地の破壊、園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○				○														

ツツジ目ツツジ科

アラゲナツハゼ

Vaccinium ciliatum Thunb.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵 11

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られている。一部では遷移により絶滅が危惧される。

【概要】

夏緑の低木、葉は広楕円形で長さ7－8cm、巾3－5cmで互生し、表面は脈が裏側に落ち込み、裏面にはあらい毛が生える。花は初夏、枝先の総状花序に筒状の白色を多くつける。果実は径5－7mm程の球形で藍色に熟し、萼筒の口が小さいことが特徴的である。

本州は福井県以西の日本海側、北九州の山地に分布域がある。

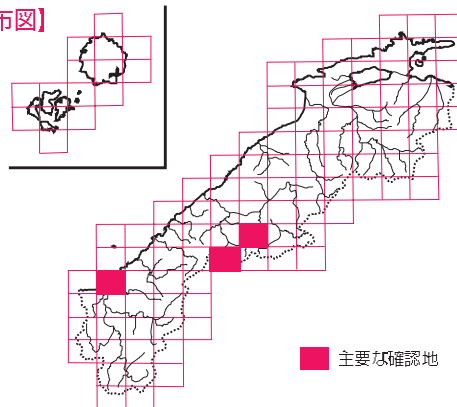
【県内での生育地域・生育環境】

県内では西部、中央部に生育地が知られているが、隠岐諸島、東部では見られないようである。生育地は林縁部や草原状地であって、林内ではほとんど見られない。

【存続を脅かす原因】

植生遷移。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
	◎	○		○				○											

モクセイ目モクセイ科

ハシドイ

Syringa reticulata (Blume) Hara

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれで、生育地での個体数も限られている。

【概要】

夏緑性の低木で高さは5m程の樹種。葉は1－2cmの葉柄があって、広卵形、長さ10cm、幅5cm前後で対生する。花は初夏の頃に咲き、枝先の円錐花序に白色の小花を多数つける。花冠は径5mmばかりで先が4裂する。果実は蒴果で長楕円形で長さ2cmばかり、熟れて2裂する。県内に見られるのは、葉に毛がないマンシュウハシドイ var. mandshurica (Maxim.) Haraとして扱われる型のものである。

北海道から本州、四国、九州に分布し、朝鮮半島に続いて分布するとされる。

【県内での生育地域・生育環境】

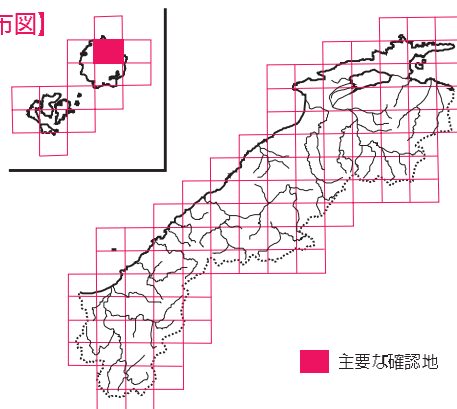
県内での生育地は隠岐（島後）にのみ知られている。山地の夏緑樹林内、特に谷筋のサワグルミ林分にまれに

生えている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の直接的な破壊。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
			○	○															

リンドウ目ミツガシワ科

ミツガシワ

Menyanthes trifoliata L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

写真 口絵11

【選定理由】
県内での生育地は限られていて、生育地によっては遷移により消滅した部分もある。

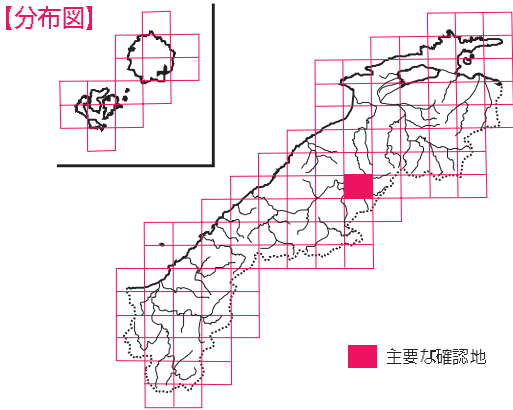
【概要】
水湿地や浅い水中に生える夏緑の多年草で、太い根茎を持ち、先端に長い柄をもった3小葉からなる葉を数枚、根生状につけて、草丈は30-40cm程のものである。小葉は楕円形で、長さ10cm、幅5cm程になる。花は早春に咲き、葉が展開すると同時に高さ30cmばかりに花茎を立て、径1-2cmの白色、漏斗状花冠の花を多数つける。花冠は5深裂して、裂片内側には毛がある。

国内では北海道、本州、九州、そして北半球に広く分布する。中国地方ではきわめてまれな分布となる。

【県内での生育地域・生育環境】
県内での生育地は出雲部の一部山間の放棄水田起源の湿地や溜池に存在している。一部は県の自然環境保全地域内にあって個体群が保護の対象となっている。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○							○														

【存続を脅かす原因】
水湿地の遷移による環境変化によって個体群が衰退する。



リンドウ目キョウチクトウ科

サカキカズラ

Anodendron affine (Hook. et Arn.) Druce

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】
県内での生育地はまれで、生育地での個体数も多くはない。

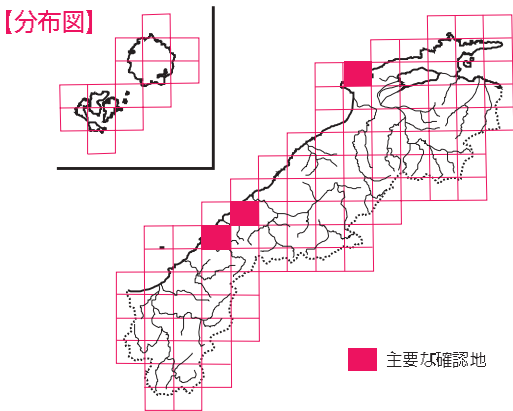
【概要】
常緑の蔓性の木本で、周囲の樹木等に絡みついて高く伸び上がる。葉は長楕円形で長さ10cm、幅2-3cmばかりで対生する。花は春に咲き、枝先の円錐状花序に淡黄色の花を数多くつける。花冠は筒状で先で細長い5裂片に裂け、径1cmばかりである。果実は特徴的で円柱状披針形の袋果で、長さ10cm、幅2cmばかりあって、多くは2個が左右に開いてつく。

本州の関東以西、四国、九州、南西諸島に分布して、中国大陆に続く分布のものとされる。

【県内での生育地域・生育環境】
県内では出雲部、石見部の海岸沿いの地域にまれに生育地が存在する。おもに照葉樹林内から林縁に生えるが、時に路傍に生えるのも見られる。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○		○				○													

【存続を脅かす原因】
樹林伐開、造成工事等による生育地の直接的な破壊。



リンドウ目アカネ科

カギカズラ

Uncaria rhychophylla (Miq.) Miq.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 11

島根県固有評価：分布限界種 (北限)

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

常緑の蔓性木本で、葉の腋に対生してつく強く湾曲する太い刺で周囲の樹木に絡みつき、高く、長く伸びる。葉は長さ10cm、幅5cmばかりで楕円形、裏は白色を帯びる。花は初夏の頃に咲き、花序は葉腋に長さ3cmばかりの柄があって球形に多くの小花をつける。果実は蒴果である。

本州の関東地方以南、四国、九州に分布するものとされる。

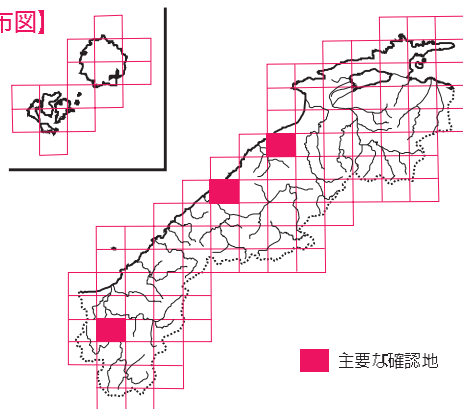
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は石見部の照葉樹林域の山中、時に林縁にまれに存在する。主として溪谷状地の谷間に生えて、あたりにはびこり、目立つことがある。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○		○				○													

シソ目ムラサキ科

サワリソウ

Ancystrocarya japonica Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はかなり限られていて、生育地での個体数はきわめてまれである。県内全域での生育地、個体数とも正確には確認できない。

【概要】

山中林内に生える夏緑の多年草。草丈は30-50cmばかりで、長さ10cm、幅5cmばかりの長楕円形の葉を互生する。花は春に咲いて、茎頂の総状花序に白～淡青色の筒状花をつける。花冠は先で5裂する。

国内では本州の関東以西の太平洋側から四国、九州に分布し、日本固有の植物とされる。

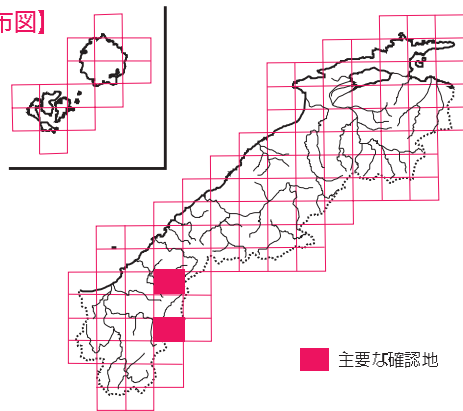
【県内での生育地域・生育環境】

県内ではおもに石見部山地に生育地があって、谷筋のやや陰湿な地から斜面上部の夏緑二次林内に生えている。生育地ではいずれも、個体数はきわめて少なく、まれに生えている感じである。県内全域でのこの植物の分布状況が確認できない。

【存在を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○		○																	

シソ目クマツツラ科

カリガネソウ

Caryopteris divaricata (Sieb. et Zucc.) Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

生育地は明らかに減少しているものと思われるが、その状況は不明な点が多い。

【概要】

山地に生える草丈1m程になる多年草。茎は4角で、長さ10cm、幅5cmばかりの広卵形の葉を対生する。花は夏に咲き、茎の上部で腋生の集散花序にまばらに花をつける。花冠は青紫色、1cm程の花筒があって先で5裂し、下の1枚は大きく反り返る。雄蕊は長さ3cmばかりで花柱とともに下向きに曲がり花外に突き出て特徴的である。植物体全体に強い独特な臭気があることも特徴的である。

北海道から本州、四国、九州、そして朝鮮半島、中国に分布域がある。

【県内での生育地域・生育環境】

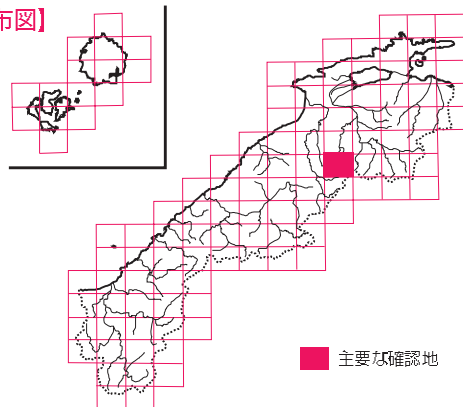
県内には広く生育地があったと思われるが、今まで知られていた生育地の多くが消滅し、県内での分布状況が

明らかでなくなっている。

【存在を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○			○															

シソ目シソ科

オウギカズラ

Ajuga japonica Miq.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、遷移による生育地の消滅が心配される。

【概要】

山地の林内に生える夏緑性の多年草。植物体は、草丈10cm前後で、葉は4-5cmの葉柄があって、ほぼ五角形で浅い切れ込みがある。茎の下部に走出枝が出て、長く地表を這う。花は春に咲いて、茎の上部の葉腋に薄紫色の花を、まばらにつける。花冠は筒状で、上唇は2裂、下唇は3裂する。

本州、四国、九州に分布する植物である。

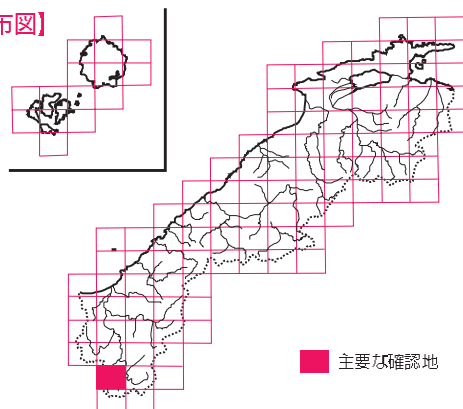
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地はきわめて限られていて、石見西部の山地、谷筋の夏緑二次林内に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林の遷移による環境変化が、個体群の消滅につながる心配がある。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○		○															

シソ目シソ科

コナミキ

Scutellaria guilielmi A. Gray

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も限られている。

【概要】

海岸の岩上などの草地に生える多年草。草丈は20cm前後で地中に走出枝をもつ。葉は卵形で長さ、幅とも1－2cmのもので対生する。花は春に咲き、葉腋に白色筒状の小花を単生する。

本州の関東以西、四国、九州、南西諸島に分布域がある。

【県内での生育地域・生育環境】

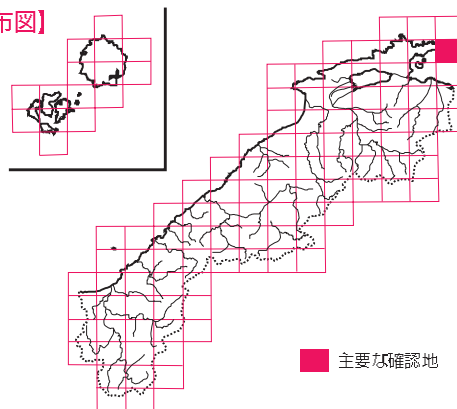
県内での生育地は島根半島の一部にのみ知られていて、石見部海岸にも生育適地があり、分布が考えられるが、今のところ不明である。海岸の岩棚などの草地に生えている。島根半島での生育地は道路拡幅や、護岸工事によりかなり破壊され、個体数は激減している。

【存続を脅かす原因】

諸工事による生育地の破壊。釣人など、人の踏み込み

による影響。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○																		○	

シソ目ゴマノハグサ科

ホソバママコナ

Melampyrum setaceum (Maxim.) Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵12

島根県固有評価：分布限界種（西限）

環境省：絶滅危惧ⅠB類（EN）

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

植物体は草丈は最大で50cmばかりで、披針形から広線形で、長さ5－6cm、幅1cm前後の葉を対生する。全体がやや紫色を帯びる。花は夏から秋にかけて咲き、茎頂、枝先に紅紫色の筒状花冠を有する花をつける。花冠は先で2唇形となり、下唇は3裂して、内面に2つの隆起部があって白色の斑となっている。

国内では中国地方西部から四国北部、九州北部に分布して、朝鮮半島、中国東北部にかけての分布域のある植物。

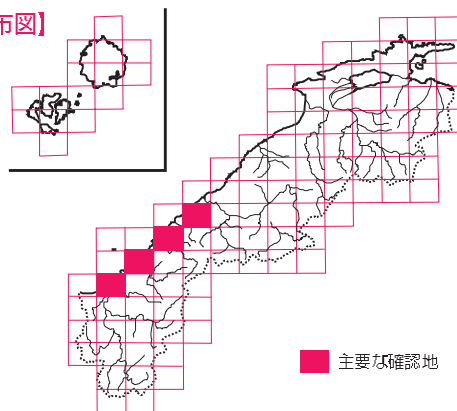
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見西部の海岸寄りの地に生育地がある。アカマツ林などの明るい林内から林縁に生育している。

【存続を脅かす原因】

生育地の遷移による環境変化により生育地によっては個体数が消滅した所もある。開発による生育地の破壊、消滅。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
		○							○										

シソ目ゴマノハグサ科

ゴマノハグサ

Scrophularia buergeriana Miq.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【選定理由】

県内での生育地はまれであり、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

草原状地にはえる多年草で、茎は四角で高さ1m前後になる。葉は1－2cmの葉柄があって葉身は卵形、長さ7－8cm、幅3－4cmで対生する。花は夏に咲き、茎の上部に枝を分けて、総状花序に多くの花をつける。花冠は壺形で、先は唇形で、上唇は2裂、下唇は3裂して長さ6－7mm、黄緑色である。

国内では本州の関東地方から中部地方、中国地方そして九州に分布し、朝鮮半島、中国東北部に続く分布域がある。

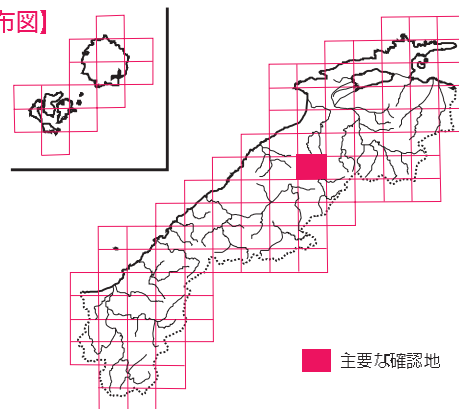
【県内での生育地域・生育環境】

県内では中央部の山地草原に生育地が知られている。三瓶山の草原では人為的に攪乱された環境に群生している。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○				○																

シソ目ゴマノハグサ科

サンインクワガタ

Veronica muratae Yamazaki

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育はかなり限られていて、生育地での個体数も多くはない植物であるが、生育地の環境もさまざまであって、分布状況がはっきりと確認できない。

【概要】

山地に生えるやや小型の夏緑多年草である。植物体は茎が基部で分枝して、長さ10cmばかりに這い、草丈は5cmばかりにしかない。葉は卵形で長さ2－3cm、幅1cmばかりで対生する。花は春に咲き、茎の上部の葉腋に短い花序に数個の花をつける。花冠は皿形で4裂し薄桃色、果実は蒴果で特徴的な扇形である。

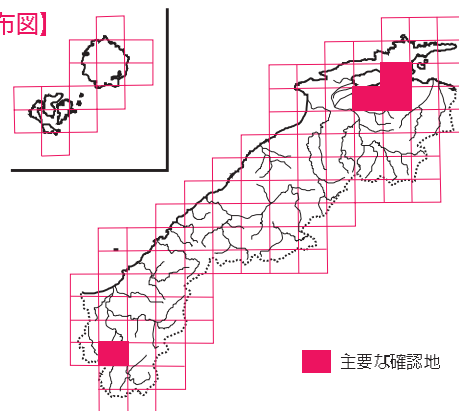
【県内での生育地域・生育環境】

国内の京都府あたりから島根県にかけて分布するとされるが、県内では特に出雲部に生育地が点在するが山地谷間、斜面、山地路傍、時にやや湿り気のある岩上にも生える。

【存在を脅かす原因】

樹林伐開、生育地乾燥化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○		○																	

シソ目タヌキモ科

ノタヌキモ

Utricularia aurea Lour.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

特にこれまで多く見られた宍道湖湖北ため池群で衰退しているため、ランクをこれまでの準絶滅危惧から絶滅危惧Ⅱ類に変更した。

【概要】

本州以西の湖沼や溜池に群生する1年生の浮漂植物で弱酸性の水体を好む。長さ3－8cmの葉は毛筆状にふさふさと立体的に分裂。花は淡黄色でイヌタヌキモに比べてやや小さい。種子はプリズム状で、縁に鈍い5～6稜がある。

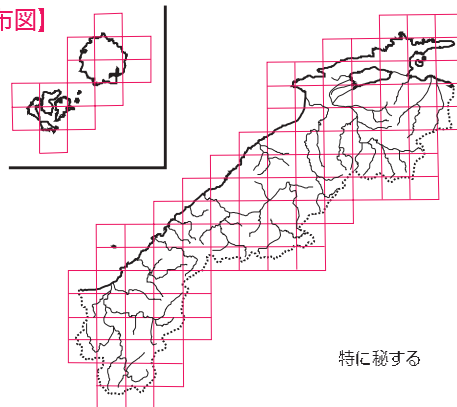
【県内での生育地域・生育環境】

宍道湖・中海周辺の丘陵部及び平野部の溜池などにジュンサイやガガブタなどとともに生育。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△											○					○				

シソ目タヌキモ科

タヌキモ

Utricularia vulgaris L.var. *japonica* (Makino) Tamura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

生育場所が限られているうえ、減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

全国各地の湖沼や溜池、湿原などに生育する多年生の浮漂植物。葉は互生し密に付き、基部で2分枝し、さらに2～4回羽状に分裂、各裂片は細い糸状で同一平面上にあり、輪郭の長さ2－6cm。節から高さ10－30cmの花茎を水面上に直立させ、頂部に2～15個の黄色の唇形花を次々に咲かせる。国内では不稔集団がほとんどで、秋に植物体の先端に形成される殖芽（越冬芽）によって無性的に繁殖している。

イヌタヌキモとよく似るが、タヌキモの花茎の断面の中央部には小さな穴があるのに対しイヌタヌキモは中実であること、タヌキモの殖芽が濃緑色で5－20mmほどの大きさであるのに対しイヌタヌキモの殖芽が暗褐色で3

－10mmほどの大きさであることなどで識別される。

【県内での生育地域・生育環境】

平野部及び丘陵部の池沼や溜池。

【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足。

【特記事項】

タヌキモは、イヌタヌキモと北海道にのみ生育が確認されているオオイヌタヌキモとの雑種である可能性が高いという最近の報告もあり、タヌキモ属の分類が再検討されている。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○						○					○					○				

シソ目タヌキモ科

ミミカキグサ

Utricularia bifida L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地によっては個体群が消滅しつつある。

【概要】

湿地に生える小型の多年草。植物体は泥土中を這う細い糸状の茎に長さ1cmばかりの地上葉を多数つけるだけのものである。夏から秋にかけて花をつける。高さ10cmばかりの花軸が地上に伸び、黄色で長さ3mmばかりの小花が数個ついて咲く。花後の全体の姿が耳掻きに似る。

国内では本州から四国、九州にかけて分布し、中国、マレーシア、オーストラリアなどに分布域があるとされる。

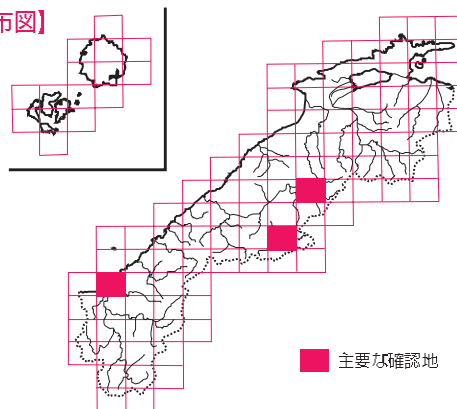
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は限られているが、出雲部、石見部に点在し、山間の湿地や、池畔に生える。しばしばムラサキミミカキグサとともに生える。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による草原化。湿地の埋め立てなどによる生育地の消滅。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○					○					○							

シソ目タヌキモ科

ムラサキミミカキグサ

Utricularia yakusimensis Masam.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地によっては個体群が消滅しつつある。

【概要】

湿地に生える小型の多年草。植物体は泥土中を這う糸状の茎に長さ5－6mmばかりの地上葉を多数つけるだけのものである。夏から秋にかけて花をつける。泥土中の茎から高さ15cmばかりに花軸が地上に伸び、花軸の先に紫色で長さ3mm程の小花が数個ついて咲く。

北海道から本州、四国、九州は屋久島までの範囲にかけて分布する植物とされる。

【県内での生育地域・生育環境】

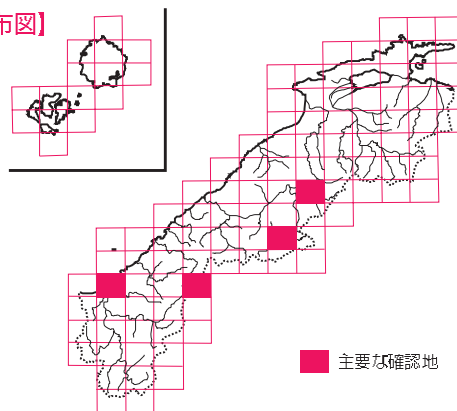
県内での生育地は限られているが、出雲部、石見部に点在し、山間の湿地や池畔に生える。しばしば、ミミカキグサとともに生える。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による草原化、樹林化。湿地の埋め立

てなどによる生育地の消滅。

【分布図】



■ 主要な確認地

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○					○					○							

マツムシソウ目スイカズラ科

ヤマヒョウタンボク

Lonicera mochizukiana Makino var. *nomurana* (Makino) Makino

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

夏緑の低木で高さ1m程のもの、枝は四角で稜がある。葉は楕円形で長さ5cm、幅3cm程で薄く、軟かく、対生する。花は春に咲き、葉腋の短い花序に2花をつける。花冠は2唇形で長さ1cmばかり、白色から淡黄色である。果実は夏に赤く熟れる。

本州の東海地方以西、四国、九州に分布域があるものとされる。

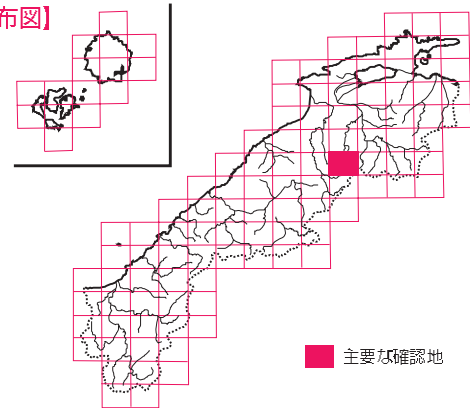
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地は出雲部の中国山地脊梁部にのみ、きわめてまれに見られる。ブナ林内にきわめてまれに生える。国内での他地域では、時に石灰岩地や蛇紋岩地に見られるものとされることなどから考えて、県内での生育地は少しばかり、特異的な状態であることも考えられる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○				○															

マツムシソウ目スイカズラ科

ヒョウタンボク

Lonicera morrowii A. Gray

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

夏緑の低木で、高さは1－2mになるものとされるが県内での生育地では50cmにも満たないものである。葉は対生して、広楕円形、長さ5cm、幅3cmばかりで、多くは円頭、円脚である。葉裏には軟毛が密生する。花は春に咲き、葉腋の短い花序に2花をつける。花冠は5裂して、裂片は線形で長さ1cm、幅2mm前後で花径約2cm。白く咲いて後黄色に変わる。果実は液果で赤く熟れ、ほぼ球形で径6－7mm。

北海道南西部から本州の日本海側に分布するとされる。

【県内での生育地域・生育環境】

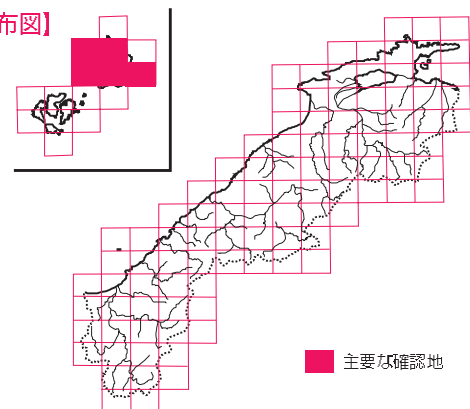
県内での生育地は隠岐（島後）にのみ知られていて、海岸の砂礫地に生えている。出雲部、石見部での生育地

は不明である。

【存続を脅かす原因】

砂礫地での遷移と波浪等による生育地の自然破壊。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
			○															○	

マツムシソウ目スイカズラ科

カンボク

Viburnum opulus L. var. *calvescens* (Rehder) Hara

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵12

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も僅かである。

【概要】

夏緑性の低木で、高さ3mばかりになる樹種。葉は広卵形で長さ、幅とも10cm前後で、上部で3中裂し、対生する。花は初夏の頃に咲き、枝先の散房花序に多くの小花をつける。花序の外側の花は不稔の花で大きく5深裂して径3cmばかり、白色で、裂片は広倒卵形で径1cm程である。内側の正常花は径5mmばかりの黄白色の小花である。果実は核果でほぼ球形、長さ1cm程で赤く熟れる。

北海道から本州中北部に多く、本州西部にも分布するがまれとなる。

【県内での生育地域・生育環境】

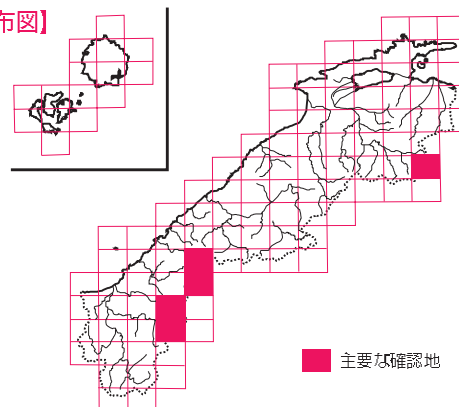
県内では出雲部、石見部の山地にまれに生育地が存在する。おもに冷温帯林域にあって、谷筋の湿り気の強い立地に生えるが、一部では山地尾根筋のやや乾燥立地に

も生えている。

【存続を脅かす原因】

遷移による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○			○		○				○										

キキョウ目キキョウ科

フクシマシャジン

Adenophora divaricata Franch. et Savat.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地の草原状地に生える夏緑性の多年草。植物体の草丈は、茎が高さ50cmばかりで、葉はほぼ楕円形で長さ5－6cm、幅2－3cmばかり、輪生し、多くは3輪生である。花は夏から秋にかけて咲き、茎の上部で円錐状にまばらに花をつける。花冠は鐘形で、長さ2cm程、先は少しばかり広がり、浅く5裂して薄紫色である。

国内では本州中北部から、中国山地に分布し、朝鮮半島、中国東北部に続く分布域がある。

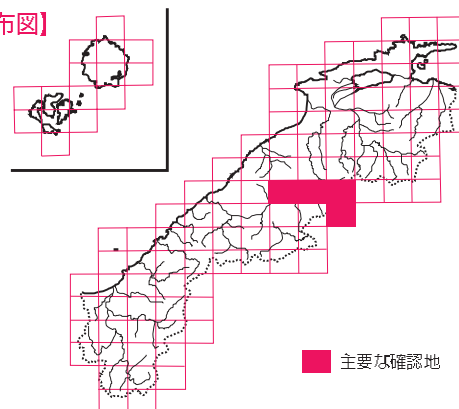
【県内での生育地域・生育環境】

県内では中国山地沿いの地、特に出雲部の山地にまれに生育地が存在する。多くは林縁の草原状地、山道などのかわらで、しばしば道や耕作地の管理のために刈り払いがされる場所に生える。

【存続を脅かす原因】

山道、林縁の管理放棄による生育地での遷移による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○			○	○			○	○												

キキョウ目キキョウ科

サワギキョウ

Lobelia sessilifolia Lamb.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

湿地に生える夏緑性の多年草。植物体は、茎が高さ50cmから時に1m程にもなる大形のもので、葉は披針形で長さ5－6cm、幅1cmばかりで互生し、茎の上部では小型の葉となる。花は夏から秋にかけて咲き、茎の上部に総状花序となって多数の花がつく。花冠は長さ3cmばかりの唇形で、濃い紫色で美しい。上唇は2裂、下唇は3裂して裂片の縁には長い毛が生える。

国内では北海道から四国、九州に分布し、朝鮮半島、中国、千島、樺太などにも分布が続く。

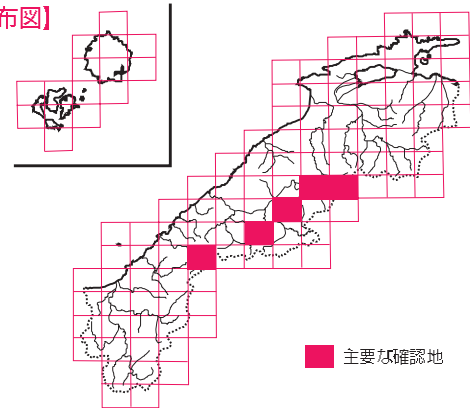
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部、石見部の山間湿地、湿原状地や池畔にややまれに生える。生育地の中には遷移によって樹林化し、消滅した場もある。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○						○														

キキョウ目キク科

ヒツキアザミ

Cirsium congestissimum Kitamura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵12

島根県固有評価：基準標本産地

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も減少している。

【概要】

山地草原に生える夏緑多年草であり、アザミ類の一種である。

植物体は長楕円形の長さ20cmばかりの葉を数枚根生するもので、開花株は高さ1mばかりに伸び、長楕円形で多くは羽状中裂の葉を互生し、上部で短く分枝して頭花をつける。頭花は幅2cmばかりで短い柄か、あるいは無柄で数個が集まりつくことが特徴的である。総苞片の先は鋭く反り返る。

本州の近畿地方と中国地方の高所に分布する。

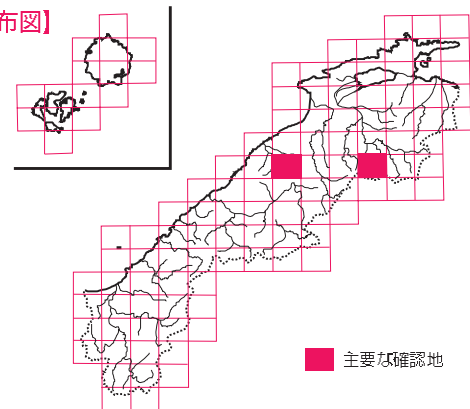
【県内での生育地域・生育環境】

県内では三瓶山と中国山地脊梁部にまれに生育地がある。山地尾根筋の登山道などの傍らの草原状地などに生える。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移、特に樹林化による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○				○																

キキョウ目キク科

モリアザミ

Cirsium dipsacolepis (Maxim.) Matsumura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も激減している。

【概要】

山地草原に生える夏緑多年草であり、アザミ類の一種である。

植物体は長楕円形で長さ20cmばかりの葉を数枚根生するものである。開花株は高さ1m程になり、長楕円形で多くは羽状に裂ける葉を互生し、上部で分枝し、枝先に頭花をつける。花は秋に咲き、頭花は幅3－4cmあって、総苞片は幅広く、長く開出するのが特徴的である。

国内では本州、四国、九州に分布域がある。

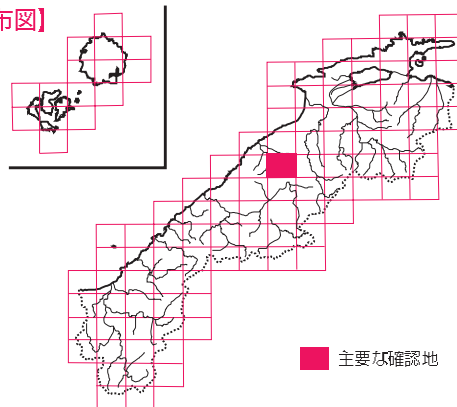
【県内での生育地域・生育環境】

県内での明らかな生育地は三瓶山山頂部にあるが、その他の地域でのことは明らかではない。

【存続を脅かす原因】

草原の樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○				○																

キキョウ目キク科

テリハアザミ

Cirsium lucens Kitamura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山間の川辺などのやや水湿地に生える多年草で、大型のアザミ類の一種である。

植物体は長さ50cm、幅も20cm前後の大きな葉を多数根生するもので、葉はさらに羽状に中裂するものである。花は秋に咲き、高さ50cm以上、時には1m以上にもなる太い花茎を伸ばし、分枝して、枝の先に頭花が点頭してつく。

本州では中国地方に分布し、四国、九州に分布するものとされる。

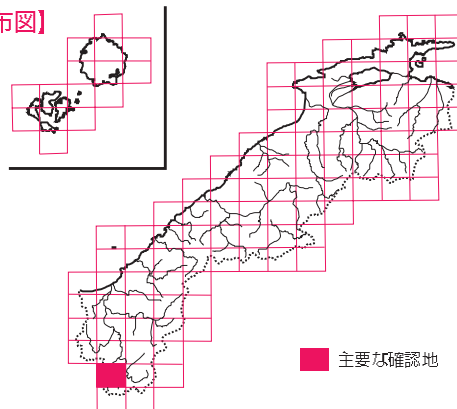
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見部の一部にだけ分布して、きわめてまれな植物である。川辺の砂泥堆積地から斜面下部の水湿地に生えている。

【存続を脅かす原因】

樹林の伐開による生育地の環境変化と洪水による生育地の破壊、個体の流失などが考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○				○															

キキョウ目キク科

サンベサワアザミ

Cirsium tenuisquamatum Kitamura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵12

島根県固有評価：基準標本産地

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られてきている。生育地での個体数も少なくなっている。

【概要】

山間の川岸などのやや湿り気の多い土地に生える夏緑性の多年草。アザミ類の一種である。

葉は長楕円形、長さ30cm、幅10cmばかりで、羽状中裂し、根生する。花は秋に咲き、高さ30－50cm程の花茎を立てて、少しばかりの枝を出し、枝先きに頭花をつける。頭花は径5cm程で、この地方のアザミ類の中ではもっとも大きい方である。頭花は開花時点頭して、花後に直立する。

中国地方固有の植物であり、島根、鳥取、岡山、広島県にのみ生育地が知られている。

【県内での生育地域・生育環境】

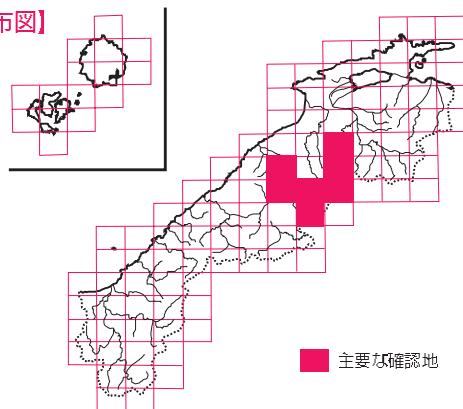
県内では出雲部西部から石見部東部にかけての山間に分布し、水田脇の畔、川土堤など、比較的人為の影響が

ある土地に多く生えていた。

【存続を脅かす原因】

水田区画整理、農道整理などによる影響。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○					○				○	○										

キキョウ目キク科

オオモミジガサ

Miricacalia makineana (Yatabe) Kitamura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数もきわめてまれである。

【概要】

深山溪側に生える夏緑性の多年草である。植物体は幅30cmばかりにもなるやや大きなほぼ円形の葉を根生し目立つ。葉は掌状に中裂し10片程の裂片に中裂し、基部は深い心形であり、両面に毛が多いものである。花は夏から秋にかけて咲き、高50cm程から時にそれ以上の高さに花茎を立て、10個ばかりの頭花をつける。頭花は20個ばかりの筒状花だけからなり、花冠は黄色で、時に美しい。

本州の東北地方南部から四国、九州に分布し、日本特産の植物である。

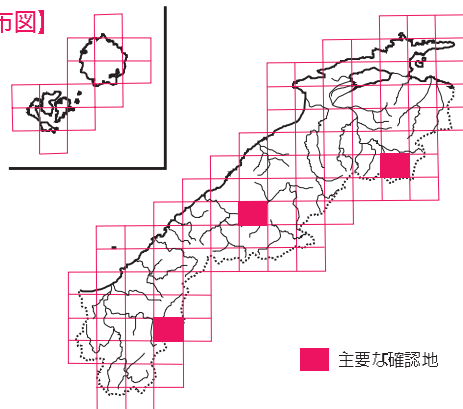
【県内での生育地域・生育環境】

県内では中国山地沿いの深山溪側に2～3の生育地が知られているが、もともと、生育地での個体数は僅かである。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○		○																	

キキョウ目キク科

カシワバハグマ

Pertya robusta (Maxim.) Beauv.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も僅かである。

【概要】

山地林内に生える夏緑性の多年草。草丈は開花株で50cmばかり、葉は広楕円形で、長さ10cmばかり、茎の中段に互生して集まりつく。花は秋に咲き、茎の先端部に数個の頭花をつける。頭花は長さ3cm程で、10花ばかりの筒状花からなる。花冠は5裂して、裂片は線形で白色。

本州、四国、九州に分布する植物。

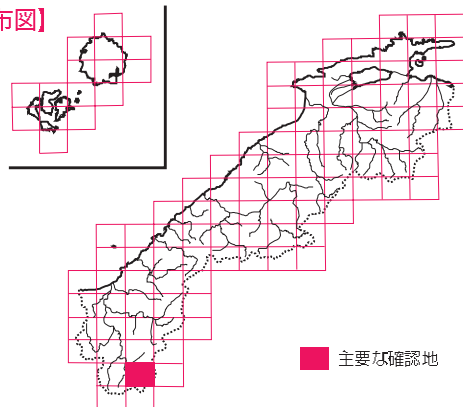
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見部にのみ生育地が知られていて、その他の地域では不明である。崖錐状地でやや林床が乾燥する立地に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○		○																	

キキョウ目キク科

ヤマザトタンポポ

Taraxacum arakii Kitamura

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵12

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

県内での生育地は少なくなり、限られてきている。生育地での個体数も多くはない。

【概要】

里地から山地の陽当りのよい草地に生える多年草。長さ20cmばかりになる倒楕円状披針形で羽状に中裂する葉を多数根生して、葉腋から花茎を数本立てて、先に1個ずつ頭花をつける。頭花は径3cmばかり、総苞は花時に長さ2cm、幅1cmばかり。外片は内片の半長に達し、長楕円状披針形で、縁は膜質半透明で、先端部に小角突起がある。

本州の近畿地方、中国地方から四国にかけて分布するとされる。

【県内での生育地域・生育環境】

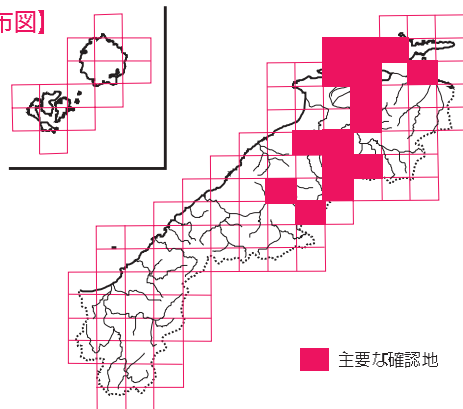
県内ではおもに出雲部に生育地があって、里地から山地にかけて、耕作地周辺及び山際の草地に生える。石見部にもまれに分布している。耕作地周辺の草地では近年、

生育地が消滅した場が多い。

【存続を脅かす原因】

土地区画整理、除草剤散布など人為による生育地破壊や個体群消滅。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○								○	○				○	○						

キキョウ目キク科

クシバタンポポ

Taraxacum pectinatum Kitam.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類VU

写真 口絵12

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も少ない。

【概要】

里地の路傍や草地に生える多年草。葉は長さが20～30 cm、線状披針形で、典型的な個体では櫛状に深裂する。花茎は葉腋より多数立てて、上端に密毛が生える。頭花は3.5～4 cmで、総苞は長さ約2 cmで、卵形または卵状長楕円形である。本州の富山県以西、四国に分布する。

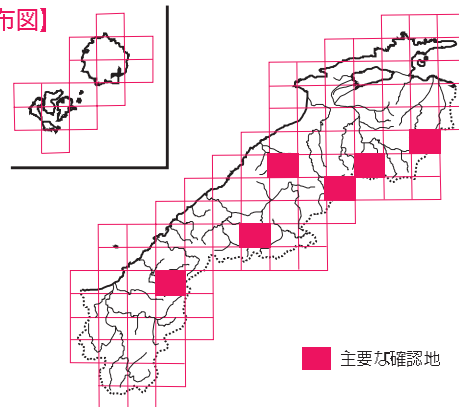
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部および石見部に点々と分布する。日当たりの良い路傍や耕作地の畦などに生育する。

【存続を脅かす理由】

圃場整備、土地造成、除草剤散布などの人為的攪乱。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○							○	○									

リンドウ目トチカガミ科

トチカガミ

Hydrocharis dubia (Bl.) Backer

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵12

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池や水路の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

北海道を除く全国各地の富栄養化した湖沼、溜池、水路などに群生する浮遊性の多年生植物。水中茎が水面直下を横走り、節から発根して水中に垂らす。長さ5～20 cmの葉柄をもつ葉身は初めは巻いているが、成長すると径5 cmほどの心臓形の浮葉となる。浮葉の表面は緑色で光沢があり、裏面には泡沫様の気嚢があり、淡緑黄色で光沢は無い。花には雄花と雌花があり、どちらも花弁は3枚で白色。秋から冬にかけて水中茎の先端が長さ2～5 cmの殖芽となり、水底に沈んで越冬する。時として水面を密に覆いつくすことがあり、その場合には葉は気中葉となり、気嚢は目立たない。ホテイアオイのように水中に根を伸ばすため、栄養塩濃度の高い水体を好む。もともと県内での産地は多くないようである。

【県内での生育地域・生育環境】

富栄養化した溜池。

【存続を脅かす原因】

除草剤の使用並びに埋め立てによる生育地の消滅。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○										○		○			○				

イバラモ目トチカガミ科

セキショウモ

Vallisneria asiatica Miki

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育場所が限られている。

【概要】

全国各地の湖沼溜池、及び比較的きれいな流水中に群生する多年生の沈水植物。

径2mmほどの細い平滑な地下茎（走出枝）を伸ばし、各節から長さ10－80cm、幅5－8mmの線形リボン状の葉を叢生する。やや黄色みがかかった葉は軟質で、上縁に微鋸歯があるが、下方では鋸歯がなくなる特徴がある。雌雄異株で雄花と雌花があり、雌株は糸状の長い花柄を水面まで伸ばし、小さな白色の雌花を水面に浮かべる。雄花は株の基部に生じ、長さ1－3cmの花柄の先の薄い袋状の包鞘中に多数詰まっている。セキショウモは典型的水媒花で、成熟すると包鞘の上部が破れて雄花が水面に浮上し、花粉を放出する。受粉後に雌花の花柄はらせん状に短縮して水中に沈み、水中で結実する。果実の内部には長さ2－4mmの種子が多数形成され、透明な粘液

に包まれている。セキショウモの形態は同属のコウガイモや沈水性のミクリ属と似ているが、鋸歯の有無や葉脈を観察することで容易に識別される。ミクリ属は葉縁に鋸歯が無く、葉脈は目立たず長方形の細胞が規則的に並ぶが、セキショウモは数本の葉脈が明瞭。

【県内での生育地域・生育環境】

県東部の溜池と宍道湖。

【存続を脅かす原因】

富栄養化並びに護岸工事による浅場の消失。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○												○					○				

イバラモ目ヒルムシロ科

オヒルムシロ

Potamogeton natans L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

生育場所が限定されている。

【概要】

全国各地の湖沼や河川中に群生する多年生の浮葉植物で、浮葉と沈水葉を持つ。浮葉は長さ15－20cmの葉柄を持ち、葉身は全縁で長さ10－15cm、幅4－7cmの長楕円形あるいは広楕円形。表面は平滑で光沢があり、裏面は緑褐色で5～7脈がやや隆起して顕著。水中の葉は暗褐色で、長さ15－30cm、幅2－3mmの硬く細長いひも状であり、この点で似たような浮葉をもつヒルムシロやフトヒルムシロと区別できる。沈水葉の断面は半月状。夏に浮葉の葉腋から長さ5－10cmの花茎が上方に伸び、その先に長さ4－6cmの黄褐色の穂状花序をつける。

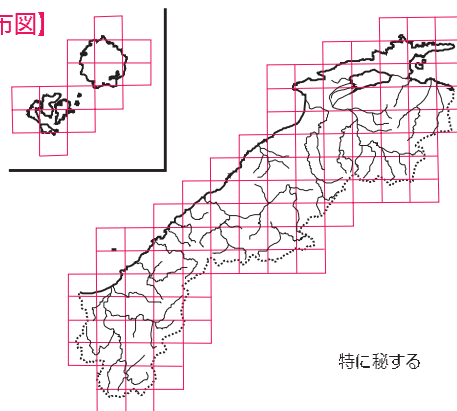
【県内での生育地域・生育環境】

隠岐諸島、県西部の河川、用水路など。

【存続を脅かす原因】

河川改修と人為的な刈り取り。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○	△			○	○				○	○				○	○				

イバラモ目ヒルムシロ科

リュウノヒゲモ

Potamogeton pectinatus L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

汽水域という限られた場所에만生育すること。遷移による生育地の水質変化及び河川改修による自生地の消失。

【概要】

全国各地の湖沼や河川、水路に生育する多年生の沈水植物。海水と淡水の入り混じる河口汽水域が主要な生育場所であるが、内陸部であっても、水中のイオン濃度の高い湖沼にはしばしば生育する。

水中茎は盛んに分枝し、無柄で全縁、長さ5－15cm、幅0.5－1mmの針状の沈水葉を互生する。葉の基部は托葉と合着して茎を抱き、長さ1－3cmの葉鞘となる。6～10月の花季には水中茎の上方の葉腋から長さ5－20cmの花茎を水面に伸ばし、長さ1－4cmの花穂をつけるが、花茎は細い糸状なので直立せず、水面に横たわって受粉する。秋頃に地下茎の先端部が肥厚し、長さ5－15mmの塊茎が形成される。

生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	汽水
◎	○																				○	○

【県内での生育地域・生育環境】

中海の干拓地内の排水路や池、及び神西湖の流入河川などから報告がある。生育場所となっている干拓地内の排水路と池の塩分は年々低下するため、いずれエビモなどの淡水の種に置き換わると予想される。近年、大橋川や宍道湖でも観察されている。

【存続を脅かす原因】

遷移による汽水環境の消失及び河川改修。

イバラモ目ヒルムシロ科

カワツルモ

Ruppia maritima L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

汽水域という限られた場所에만生育すること。遷移あるいは人為的な要因による生育地の水質変化及び河川改修による自生地の消失。

【概要】

全国各地の海岸沿いの湖沼や河川河口域、あるいは干拓地内の一時的な水溜まりなどに生育する多年生（または1年生）の沈水植物。地下茎の各節から水中茎が伸びる。葉は長さ5－15cm、幅約0.5mmの糸状で先端は鋭頭、基部は葉鞘となり茎を抱く。葉縁に鋸歯があることでリュウノヒゲモとの区別点となる。生活環の長い間に行ったり、次々と特徴のある散形花序を展開する。

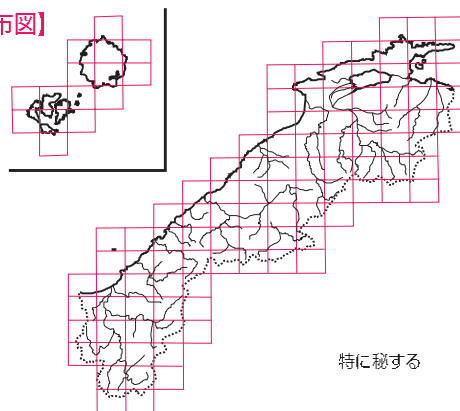
【県内での生育地域・生育環境】

中海とその干拓地内の排水路や池、及び日本海に面した池などから報告がある。中海本庄水域内ではほぼ全域にわたって点々と分布し、特に宮ヶ鼻・弁慶島付近には大きな群落が形成される。近年、大橋川にも生育。

【存続を脅かす原因】

遷移あるいは人為的な要因による汽水環境の消失及び河川改修。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口	汽水
○																					○	○

イバラモ目イトクズモ科

イトクズモ(ミカヅキイトモ)

Zannichellia palustris L.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

汽水域という限られた場所에만生育すること。遷移あるいは人為的な要因による生育地の水質変化及び河川改修や埋め立てによる自生地の消失。この数年で産地が拡大したため、ランクをこれまでの絶滅危惧Ⅰ類から絶滅危惧Ⅱ類に変更した。

【概要】

全国各地の海岸沿いの湖沼や河川、水路に生育する多年生（または1年生）の沈水植物。海水と淡水の入り混じる河口汽水域が主要な生育場所であるが、リュウノヒゲモ同様、内陸部であっても水中のイオン濃度の高い湖沼には生育する。地中を這う地下茎から径1mm以下の糸状の水中茎が伸び、無柄で長さ2－8cm、幅0.5mmほどの線形の葉が対生または輪生する。雌雄同株で雄花と雌花が同じ葉腋に並んでつき、受粉は水中でおこる。果実は特徴的で、長さ4－7mmの三日月形で背面にまばらに波状の突起がある。果実の無い状態ではしばしばイトモ

あるいはホソバミズヒキモと誤同定されている。

【県内での生育地域・生育環境】

宍道湖と日本海を結ぶ佐陀川で1994年7月に再発見され、その後中海のいくつかの干拓地での自生が確認され、最近では大橋川や天神川でもみつっている。

【存続を脅かす原因】

遷移あるいは人為的な要因による汽水環境の消失。

【特記事項】

鳥取県で絶滅危惧Ⅰ類、広島県で絶滅危惧種に指定されている。

生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○																○	○				○

イバラモ目イバラモ科

イトトリゲモ

Najas japonica Nakai

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

除草剤の影響のほか、減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池や側溝の保全・管理が年々行われなくなっている。

【概要】

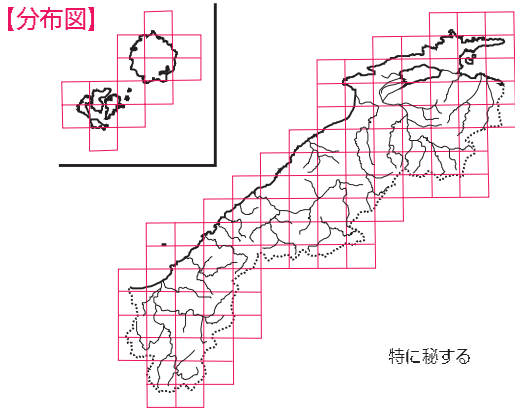
全国各地の溜池や水田、溝に生育する沈水植物。茎は糸状で、全長10－30cmほど。葉は5輪生で葉身は長さ1－2cm、幅約0.2mmの糸状、葉縁に鋸歯がある。各節の葉腋に雄花1つと雌花2つが並んでつき、果実は2個ずつ並んでできる。種子は長楕円形で長さ約2mm、表面に縦に長い長方形の網目模様がある。同属のホッスモとは、ホッスモの葉鞘の先が耳状に突き出て尖ることのほか、葉腋の種子の数と種子の模様で区別できる。

【県内での生育地域・生育環境】

県東部の溜池で記録があるが、中部・西部では詳しい調査が行われていない。

【存続を脅かす原因】

除草剤の使用及び農業形態の変化による溜池の管理不足と水路のコンクリート化。



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	△	△								○					○						

ユリ目ユリ科

カタクリ

Erythronium japonicum Decne.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵12

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

植物体は地中深くに鱗茎があって、それから軟らかく長い柄を持った広楕円形の葉身がつくもので、葉身だけが地上にみられる。葉は未成熟な個体では1枚、成熟した個体ではほとんどが2枚つく。葉身には独特な斑紋がある。花は春に咲く。開花株では高さ20－30cmの花茎を出し、先端に一花がつく。花冠は紅紫色で、花は下向きに咲き、花被片は6枚で、上にそり返る形で咲く。花被片のつけ根には独特な濃紫色の斑紋がある。夏までに地上部は枯れる。

国内では北海道から本州、四国、九州に分布するが北海道などの北方に多く生える。樺太、朝鮮半島、中国にも分布する。

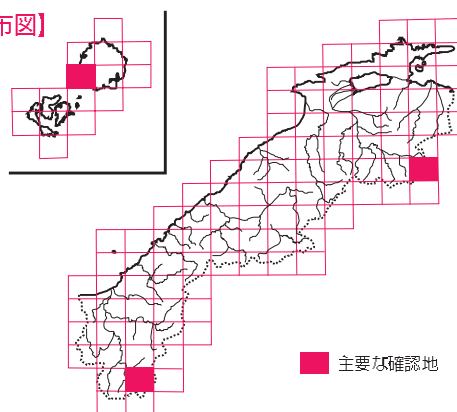
【県内での生育地域・生育環境】

県内では中国山地や隠岐（島後）にまれに生育地がある。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による環境変化。園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○	○	○																	

ユリ目ビャクブ科

ヒメナベワリ

Croomia japonica Miq.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地林内に生える多年草で、草丈は30cmばかり。葉は卵状楕円形で長さ10cm、幅5cmばかりで、6－7枚を互生する。花は春に咲き、葉腋に長さ3cmばかりの細い花柄を垂らし、先に黄緑色の小花をつける。花も下向きに咲く。

本州の中国地方から四国、九州、南西諸島に分布する植物である。

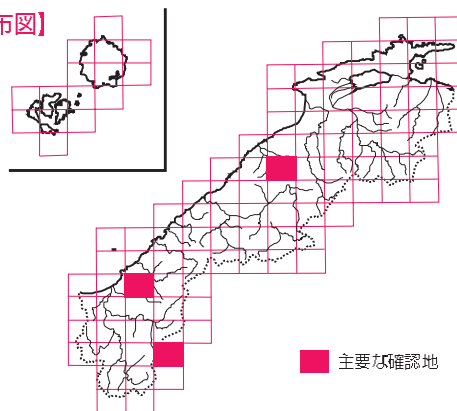
【県内での生育地域・生育環境】

県内では石見部に生育地が点在する。夏緑二次林から夏緑樹の多い照葉二次林、さらにスギ人工林内にも生えるが、いずれの場合も個体数は多くはない。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○		○																	

ユリ目キンバイザサ科

コキンバイザサ

Hypoxis aurea Lour.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵13

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はさわめて限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地に生える夏緑性のやや小型な多年草。地中の塊状の根茎から長さ10cmばかりで線形の葉を数枚束生する。植物体全体に長い毛がある。初夏の頃に花をつける。花は葉腋から出る長さ10cmばかりの細い花茎の先に数個がつく。花被片は6枚で長さ5mmばかりで黄色である。果実は蒴果で長楕円形、長さ1cm程のものである。

本州の関東地方以南、四国、九州、南西諸島に分布し、中国、マレーシア、インドなどの南方に分布域があるとされる。

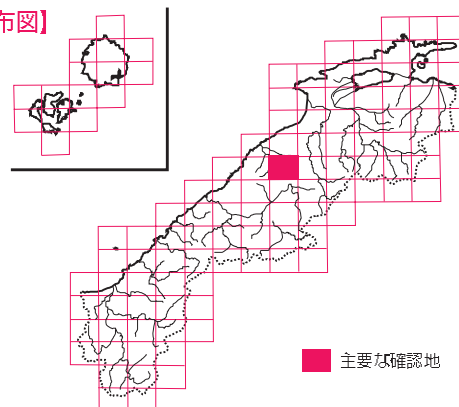
【県内での生育地域・生育環境】

県内では現在、三瓶山にだけ生育地が知られている。シバスゲなどの高さの低い草原内に生えている。

【存続を脅かす原因】

人為的な草原の破壊、遷移による樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○				○																

ユリ目ミズアオイ科

ミズアオイ

Monochoria korsakowii Regel et Maack

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

【選定理由】

除草剤による影響のほか、近年では県内各地の圃場整備による乾田化及び放棄水田の遷移によって生育場所が減少。

【概要】

全国の池沼、水路、休耕田などに生育する1年生の大形抽水植物。葉は根生し、高さ30cmから時に1mを越える。葉はスベード形で葉身の長さとは幅は5-20cmで先が尖る。葉柄基部の葉鞘から葉の高さを越えて花茎が立ち、頂部にヒアシンシの花形に似た長さ10-15cmの総状花序をつける。花径は2.5-3cmで1花序に数個から数10個の花がつく。花は匂い、花被片は鮮やかな青紫色。花後、花茎が下向きに折れ曲がり、円錐または三角錐状の果実ができる。果実は熟すと3裂して、1mmほどの黒色の種子を多く出す。

【県内での生育地域・生育環境】

斐川平野の水田。大橋川河口左岸域の休耕田や神西湖

に流入する河川と周辺の休耕田で以前その生育が確認されているが、近年は確認されていない。

【存続を脅かす原因】

除草剤による影響及び水田の乾田化と放棄水田の増加。小河川や水路のコンクリート化。アメリカザリガニ等による食害。

生育地域				山地地域			里地地域				平野地域				海岸地域						
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○															○						

ユリ目アヤメ科

ヒメシャガ

Iris gracilipes A. Gray

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：準絶滅危惧（NT）

維管束植物

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、本来、県内での自生のか不明な点がある。

【概要】

根茎は地中または地上を這い、分枝して枝の先端に数枚の葉を2列につける。葉は淡緑色で、長さ20-30cm、幅1cm程の線形葉で先端はやや垂れる。花は春に咲くが、細く硬い花茎を葉より少し長く出し、2-3の枝を分けて花がつく。花被片は淡紫色で、外花被片が大きく、濃紫色の條と黄色の斑紋がある。

北海道西南部から本州、四国、九州北部に分布域があるとされるが、中国地方では分布が知られていないとする資料もある。

【県内での生育地域・生育環境】

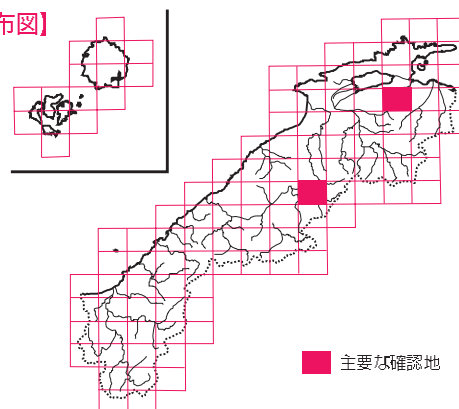
県内では出雲部に生育地が知られていて、山林内から林縁の草地に自生状態として見られる。しかし、山林内のものも過去における峠の茶屋が存在したとされる場で

あり、林縁のものも民家に近く、本来の自生のものとしては疑わしい点もある。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による環境変化と園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○				○															

ツユクサ目ホシクサ科

オオホシクサ

Eriocaulon buergerianum Koernicke

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

絶滅野生絶滅

絶滅危惧Ⅰ類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報不足

【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

水湿地に生える1年草で、地際に線形の長さ10cmばかりの葉を根生状に多数つける。花は夏に咲き、高さ20cm程の花茎を多数立てて、それぞれに頭花を1個ずつつける。頭花は半球形で径5mm前後のもの。総苞片は広倒卵形で頭花より短い。頭花は白色で、花苞の上半部背面には白色の短毛が多いが、萼裂片には上縁にのみ白色短毛があって背面にはない。

本州の近畿地方以西、四国、九州、南西諸島から中国に分布域があるとされる。

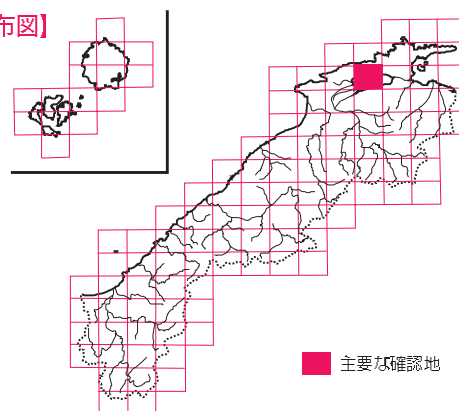
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部の一部にのみ生育地が知られていて、その他の地域での分布状況は不明である。溜池の池畔に生える。

【存続を脅かす原因】

溜池の管理放棄。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○																○			

イネ目イネ科

トウササクサ

Lophatherum sinense Rendle

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はまれで、生育地での個体数も限られている。

【概要】

山地に生える夏緑の多年草。地中の根茎から2～3枚の葉をつけて生え、開花株は高さ50cmばかりに稈を立て、長さ20cm、幅3cmばかり広披針形の葉をつけ、上部の円錐花序に小穂をつける。花は夏から秋にかけて咲き、小穂は長さ8mm程でやや扁平となり背面がふくれてきて、特徴的な形状となる。

本州の中部以西、四国、九州に分布して、中国中部にも分布するものとされる。

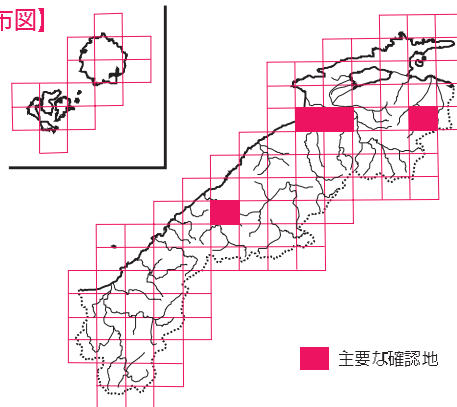
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部に2～3の生育地が知られている。隠岐諸島での分布状況は不明である。県内での生育地はいずれも山地の林縁部にあって、中には路傍にあって、消滅の危険性が大きい。

【存続を脅かす原因】

路傍、林縁の管理による生育地の破壊、遷移による環境変化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○			○				○													

タコノキ目ミクリ科

ヒメミクリ

Sparganium stenophyllum Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれな状態となっている。

【概要】

浅い水中から水湿地状態の土地に生える抽水植物の一種である。植物体は草丈50cmばかり、葉はほぼ線形で、下部の葉は長さ30cm、幅5mmばかりあるが、上部のものは短い。花は夏前に咲き、茎に互生する葉の葉腋に球状の花序をなしてつく。下方につく1～3個の花序は雌雄花序で、上部に5～6個の雄性花序をつける。

分布としては日本全国から朝鮮半島、中国東北部の範囲にあるものとされる。

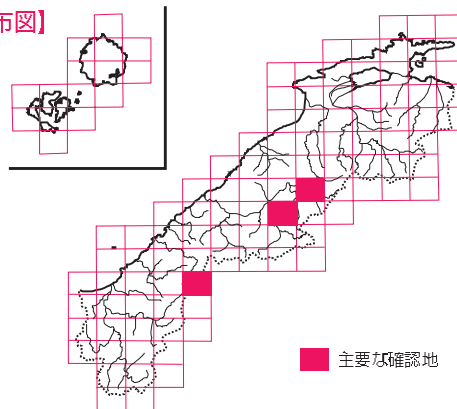
【県内での生育地域・生育環境】

県内では山地の水湿地や溜池などの池沼に生育地が点在するが、きわめてまれな状態となっている。特に溜池では池の管理放棄によって遷移して個体群が消滅してきている。

【存続を脅かす原因】

水湿地、溜池の管理放棄による遷移。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○						○					○									

カヤツリグサ目カヤツリグサ科

マシカクイ

Eleocharis tetraquetra Nees

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はさきわめて限られていて、生育地での個体数も僅かである。

【概要】

水湿地に生える草丈50cmばかりの多年草。植物体は地中の根茎から高さ50cmばかりの4稜形の稈を多数束生するだけのものである。葉は稈の基部に葉鞘だけに退化したものがつく。花は夏から秋にかけて咲き、稈の先端に1個だけつく小穂につく。小穂は卵状長楕円形で長さ1cm、幅3－5mmばかりで、刺針状花被片は6本、下向きの刺針が密生する。

本州の中国地方から四国、九州、南西諸島に分布し、さらに中国からマレーシアなどの南方に分布が続くものとされる。

【県内での生育地域・生育環境】

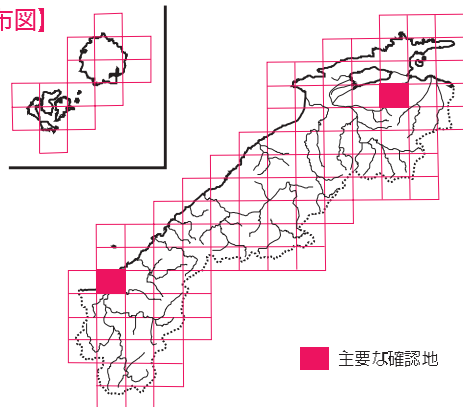
県内では石見部西部に明らかな生育地が知られるが、他の地域でのことは不明である。島根半島にも分布した

が、これは開発により消滅した。

【存続を脅かす原因】

生育地での遷移による樹林化、水湿地の埋め立てなど。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○										○						○			

カヤツリグサ目カヤツリグサ科

アンペライ

Machaerina rubiginosa (Spreng.) T. Koyama

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は限られていて、生育地はいずれもきわめて小規模なものである。

【概要】

水湿地に生えるやや大形の多年草である。葉は円柱形で径3mmばかり、長さは1m程になって、地下茎に数枚が根生する。花は夏前に咲き、葉とはほぼ同長さの茎の先端に少しばかりの枝を分けて、多くの小穂につく。

国内の本州東海地方以西、四国、九州、南西諸島から熱帯アジアに分布する。

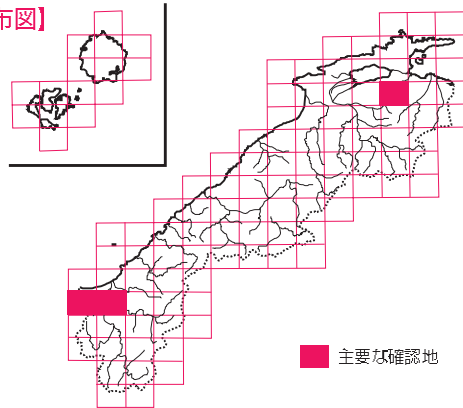
【県内での生育地域・生育環境】

県内では出雲部と石見部の一部に生育地が知られている。いずれの生育地も溜池の池畔であって、浅い水中から岸辺の砂泥堆積地に生え、群生する。

【存続を脅かす原因】

溜池の埋め立て、改修工事による生育地の消滅。管理放棄による生育地の遷移による樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○		○										○						○			

ラン目ラン科

ヒナラン

Amitostigma gracile (Blume) Schltr.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：—

環境省：絶滅危惧ⅠB類 (EN)

【選定理由】

県内での生育地はややまれで、近年、消滅した生育地が多い。

【概要】

植物体は長さ5cm前後、幅1～2cm程の長楕円形の1枚の葉をもつやや小型のものである。花期は初夏の頃で、花茎を10～15cm程の高さに薄紫色の小花を10花程つける。多くは露岩地、岩壁に生え、時には人工的な岩壁にも生えることもある。

国内では関東地方以西から四国、九州に分布するものとされる。

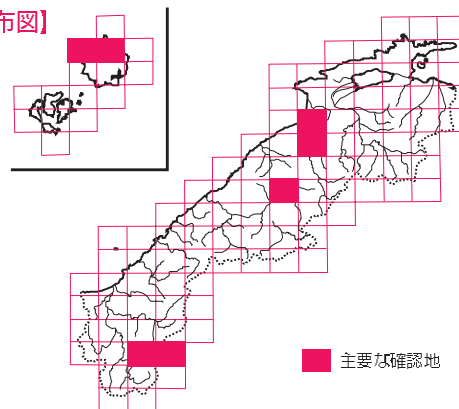
【県内での生育地域・生育環境】

県内では全域の山地に生育地が点在している。過去においては路傍の人工的な岩崖などにも生育するものが見られたが、多くはその場の遷移による草原化、樹林化や道路の拡幅工事などにより生育地の破壊などがあって、生育地は明らかに減少してきている。

【存続を脅かす原因】

山地岩場での樹林化、園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域							
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○					○						○									

ラン目ラン科

エビネ

Calanthe discolor Lindl.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：—

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内全般に分布域があって生育地もかなり知られているが、いずれも生育地での個体数は僅かであり、生育地及び個体群の消滅が心配される。

【概要】

山地林内の林床に生える夏緑の多年草で、地中に球形の偽球茎をもち、長卵状楕円形の長さ20cm、幅5cm前後の葉を2～3枚地上に展開させる草丈20～30cm程の植物。春先に葉間から高さ30cmばかりの花茎を立てて10～20花程の花をつけ美しく咲く。花被片は暗褐色であるが、唇弁は白色から淡紅色である。

北海道西南部から本州、四国、九州、南西諸島に広く分布域がある。古来より栽培する人が多く、山野に自生するものの採取が続いている。

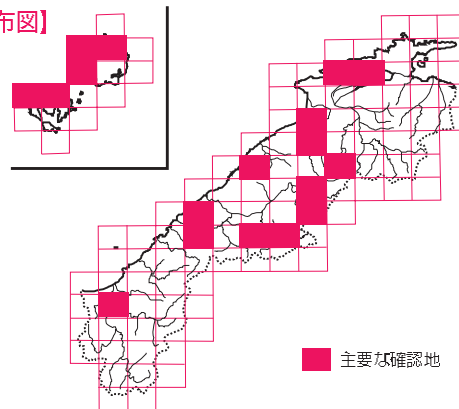
【県内での生育地域・生育環境】

県内にはかなりあちこちに生育地が知られて、おもに夏緑樹林に生えるが、時にはスギ人工林内にも生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開と園芸上での採集による生育地及び個体群の消滅。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○				○					○								

ラン目ラン科

ナツエビネ

Calanthe reflexa Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

【選定理由】

県内全域に分布域があつて生育地もかなり知られているが、いずれも生育地での個体数は僅かであり、生育地及び個体群の消滅が心配される。

【概要】

山地林内の林床に生える夏緑の多年草で、地際に球形の偽球茎をもち、長楕円形で長さ20cm、幅5cm前後の葉を4～5枚展開させ、草丈30cm程の植物である。花期は夏で、葉間に葉より高い花茎を伸ばし、淡紫色の花を10～20個程つけて、美しく咲く。

国内では本州、四国、九州に分布域があるとされる。古来より栽培する人が多く、山野に自生するものの採取が続いている。

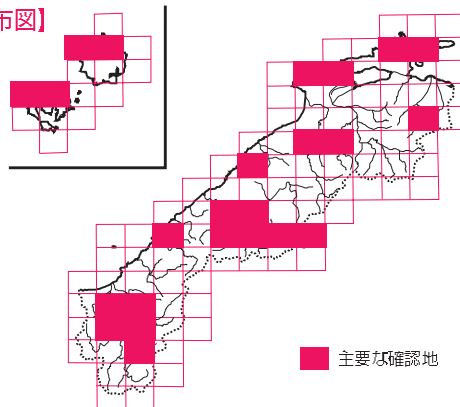
【県内での生育地域・生育環境】

県内での生育地はあちこちに知られていて、谷間のかなり湿り気の強い場所などに生え、時に倒木の朽木上に生えるものも見られる。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開や園芸上での採取による生育地の破壊、個体群の消滅。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○	○	○				○											

ラン目ラン科

ギンラン

Cephalanthera erecta (Thunb.) Blume

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はかなりまれな状態となっていて、個体数も多くない現状である。

【概要】

山地山林内、時に林縁、山中路傍にも生える草丈30cm前後の夏緑多年草である。葉は楕円形で、長さ5cm、幅3cm前後で4～5枚が互生する。花は春に咲き、茎頂に5～6個の白花をつける。時に花が目立つので採取されることが多い。

国内では本州から四国、九州に広く分布域があり朝鮮半島にも分布するとされる。

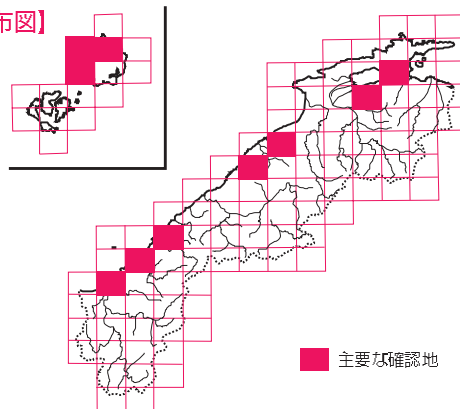
【県内での生育地域・生育環境】

県内では全域に生育範囲のある植物であり、各地に生育地が知られたが、現在ではそれらの生育地に今でも生育が確認されることはほとんどない状態である。明るい夏緑樹林内からかなり暗い照葉樹林内にも生えることがある。

【存続を脅かす原因】

生育地の遷移による環境変化による生育地破壊。園芸上その他での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○	○	○				○											

ラン目ラン科

キンラン

Cephalanthera falcata (Thunb.) Blume

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：—

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

県内での生育地はなかりまれな状態となっていて、個体数も多くはない現状である。

【概要】

山地山林内、時に林縁に生える草丈50cmばかりの夏緑多年草である。葉は楕円形で長さ10cm、幅5cm前後で5～6枚が互生する。花は春に咲き、茎頂に10花程の黄花をつける。時に花が目立つので採取されることが多い。

国内では本州、四国、九州に広く分布域があり、朝鮮半島、中国大陆に続いて分布している植物である。

【県内での生育地域・生育環境】

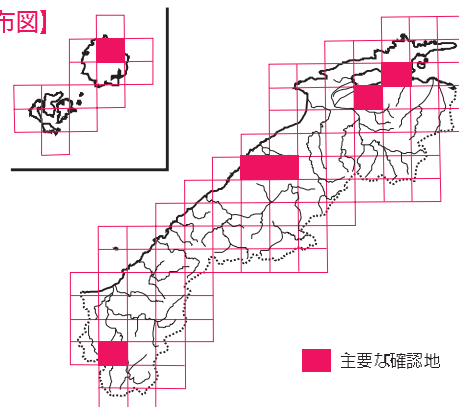
県内においては全域に生育範囲のある植物であるが、生育地は点在し多くはない。多くは夏緑樹林、時に照葉樹林内での林冠破壊部の明るい場に生える。山中の山道の傍にも生える。

【存続を脅かす原因】

生育地の遷移による照葉樹林化等、生育地の環境変化

による消滅の危険。園芸上その他による採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○	○	○	○	○				○											

ラン目ラン科

トケンラン

Cremastra unguiculata (Finet) Finet

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：—

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

県内での生育地はもともとまれであり、生育地の破壊等により生育地が消滅することが多い状態である。

【概要】

樹林内に生える草丈20cmばかりの夏緑多年草である。植物体は地下に径2cmばかりの球形の偽球茎が細長い地下茎でつながり、偽球形から1～2枚の長楕円形で長さ10cm、幅3cm前後の葉をつけるものである。葉は多くの紫色の斑点をもつ個体群が多い。花は春に咲き、高さ20cm程の花茎を立て、長さ2cm程の線状披針形の花被片をつけて、10個ばかりの花がつく。花被片にも紫色の斑点があって、時に美しく見える。

北海道から本州、四国に分布域があるとされる。

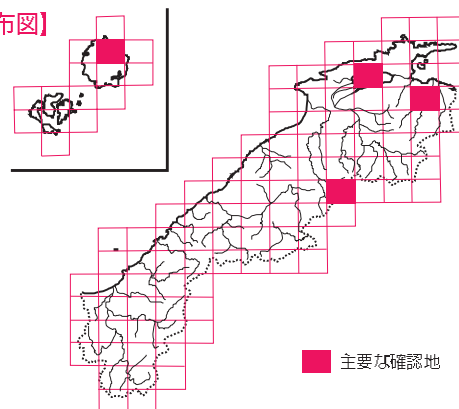
【県内での生育地域・生育環境】

県内全域に分布域があり海岸域から中国山地脊梁部にまで生育地が点々と知られている。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開、土地造成、園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地
○			○	○				○											

ラン目ラン科

セッコク

Dendrobium moniliforme (L.) Sw.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はかなりまれな状態となってきた。園芸上での採取が多く生育地及び個体群の消滅が心配される。

【概要】

樹幹や岩上に生えるやや小型の多年草。植物体は茎が束生して株状となり、多くの根を出して着する。茎は円柱形で高さ20cm前後のものである。葉は披針形で長さ5cmばかりで数枚が互生する。花は初夏の頃に咲き、2～3年前の葉の落ちた古い茎の先に数個の花がつく。花は多くは白色から淡桃色で、芳香があり好まれる。

国内では本州から四国、九州、南西諸島に広く分布する植物である。

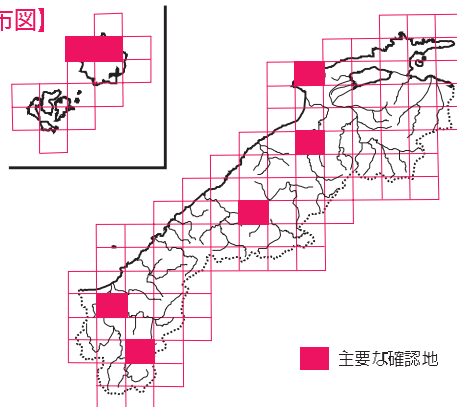
【県内での生育地域・生育環境】

県内では全域の山地に生育地が知られているが、かなりまれな状態となっている。

【存続を脅かす原因】

森林伐開による着生樹木の倒伐。山地露岩上の生育地での遷移、樹林化による生育地の消滅。園芸上での採取。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域							
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	露岩	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○					○						○									

ラン目ラン科

カキラン

Epipactis thunbergii A. Gray

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵13

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はかなり知られていたが、現在では多くの生育地が消滅してまれになってきている。

【概要】

陽あたりのよい湿地に生える草丈30～50cm程の夏緑の多年草。葉は卵形で基部は葉鞘となって茎を巻き、長さ10cm、幅3cmばかりで互生して7～8枚がつく。花は初夏から夏に咲き、茎頂に橙黄色の花を10花ばかりをつける。

国内では北海道から四国、九州の範囲に分布域があるとされる。

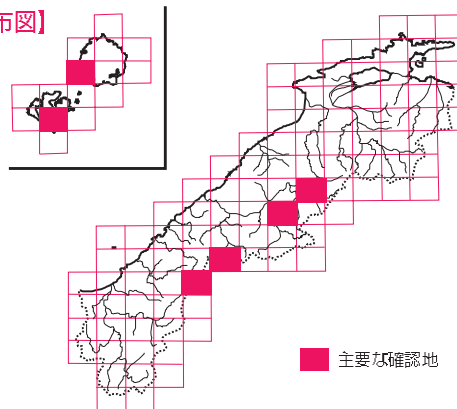
【県内での生育地域・生育環境】

県内では全域に分布範囲があつて海岸部から中国山地まで広く分布する植物であるが、多くの場で生育地そのものが破壊、消滅して、かなりまれとなってしまっている。山地水湿から水田傍の湿地にも生えたが、遷移による乾草原化により、ほとんどの場で消滅している。

【存続を脅かす原因】

現状としてもっとも危険なことは遷移による生育地の環境変化が考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○		○				○												

ラン目ラン科

ベニシュスラン

Goodyera macrantha Maxim.

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地はもともとまれであって、生育地での個体数も多くはない。

【概要】

山地林内の林床に生える小型の植物で、茎の下部は短く、地に這い、上部は短く立ち上がり、葉を4～5枚つけて、草丈は10cmにみえないものである。葉は長さ3～4cm、幅2cmばかりの楕円形で互生し、表面は濃緑色で少しばかり縮子の表面に似て、裏面は赤味がある。花は夏に咲き、茎頂に淡紅色で長さ2cm程の植物体としては大きい花を2～3個つけて、時に全体として美しく見える。

国内では関東以西、四国、九州に分布する。

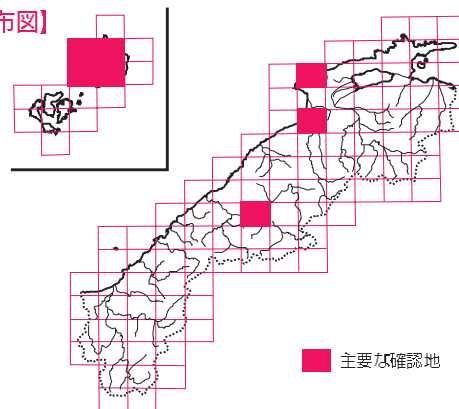
【県内での生育地域・生育環境】

県内全域の山地にまれに生育地がある。おもに照葉樹林内の陰湿な林床で、多くは蘚苔類と共に生える。

【存続を脅かす原因】

樹林伐開による生育地の環境変化。園芸上での採取も考えられる。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域					平野地域					海岸地域			
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○		○	○				○													

ラン目ラン科

ヤマトキソウ

Pogonia minor (Makino) Makino

島根県：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

写真 口絵14

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

県内での生育地は昭和60年代には、出雲部だけでも数カ所が知られていたが、現在ではその生育地は消滅していて、全県での生育地の状況は明らかでない。石見部での生育地が確認されたという情報もある。

【概要】

山地の草地に生えるやや小型の多年草で、地を這う根茎から地上茎を出し、草丈10cmばかり。茎の中央部に長楕円形の葉を1枚つけ、茎頂に一花をつける。花は夏に咲く。淡紅色の披針形の花被片をもつ花を上向きにつけるが、花被片はほとんど開かないという特徴がある。

国内の北海道から、本州、四国、九州、そして朝鮮半島に分布する。

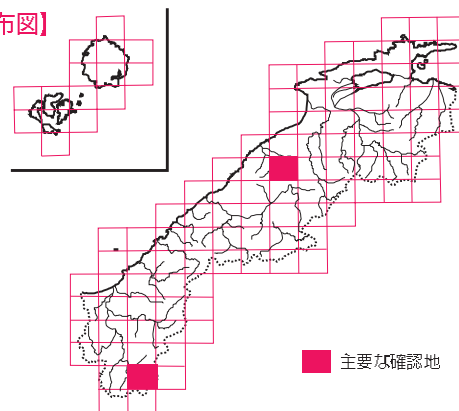
【県内での生育地域・生育環境】

県内での過去の生育地は山地内での路傍崖地や草刈り場に存在したが、遷移による樹林化により消滅したと思われる。

【存在を脅かす原因】

生育地の樹林化。

【分布図】



生育地域				山地地域				里地地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
	○	○			○																